

築城飛行場周辺まちづくり構想 基本計画

～新たなコミュニティ拠点施設の整備～

令和 3 年 3 月
福岡県みやこ町

目次

序章	・・・・・・・・・・1
1. 背景と目的	
2. 基本計画の対象地	
第1章 現況把握と整備課題の整理	・・・・・・・・・・4
1. 対象地や周辺施設などの現況把握	
2. 類似施設の把握	
3. 整備に向けた検討課題の整理	
第2章 基本計画	・・・・・・・・・・19
1. 基本的な考え方	
2. 施設構成	
3. 施設配置の考え方	
4. 整備イメージ	
参考資料	・・・・・・・・・・35
1. 策定のプロセス	
2. 住民意向調査	
3. パブリックコメント結果	

序章

1. 背景と目的

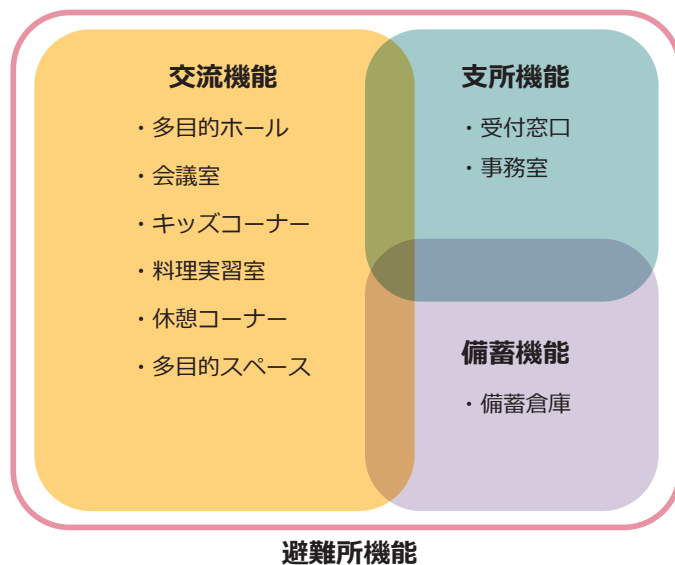
(1) 背景

本町は、第2次みやこ町総合計画において、将来像として「わたしたちが未来を創り 人と自然が輝きつづける みやこ町」を掲げており、実現目標として「夢をもち、心豊かな人を育てるまちづくり」や「元気で安心して生活できるまちづくり」などを設定し、将来像の実現に向けた取り組みをおこなっています。

人口減少や多発する災害などを背景に、町のにぎわいや活力の創出と防災機能の強化に向けたまちづくりの推進を目指し、新たなコミュニティ拠点の整備を目的として、令和2年(2020年)10月、「築城飛行場周辺まちづくり構想 基本構想～新たなコミュニティ拠点施設の整備～」(以下、「基本構想」)を策定しました。

基本構想では、住民意向を踏まえ、基本理念を【誰もが「豊かな交流」と「安心」を身近に感じるコミュニティ拠点の形成】とし、「豊かな交流や活力を創出する施設整備」、「防災機能を強化する施設整備」、「住民の交流促進に向けた取り組みの推進」の3つを基本方針に掲げています。これを踏まえ、整備方針として、交流機能、支所機能、備蓄機能、避難所機能の導入を方向づけています。

参考) [基本構想] 施設の導入機能と施設構成イメージ



(2) 本計画の目的

本計画は、基本構想に即し、町のにぎわいや活力の創出と防災機能の強化に向けた新たなコミュニティ拠点施設の整備を目的に策定するものです。

コミュニティ拠点施設は築城基地と住民との交流、連携を図ったまちづくりの場となることも期待されることから、本計画は、防衛省所管の補助事業である「築城飛行場周辺まちづくり構想策定支援事業」の採択を受けて策定しました。本計画では、住民の意向をふまえながら、コミュニティ拠点施設の空間的な整備の方向性をとりまとめます。

2. 基本計画の対象地

本計画の対象地は、「第一種区域（※注1）」内であり、高台で公共施設が集積している豊津公民館とその周辺とします。

対象地は、平成筑豊鉄道新豊津駅から徒歩約 20 分、太陽交通バス停「豊津支所」から徒歩約 1 分の位置にあります。

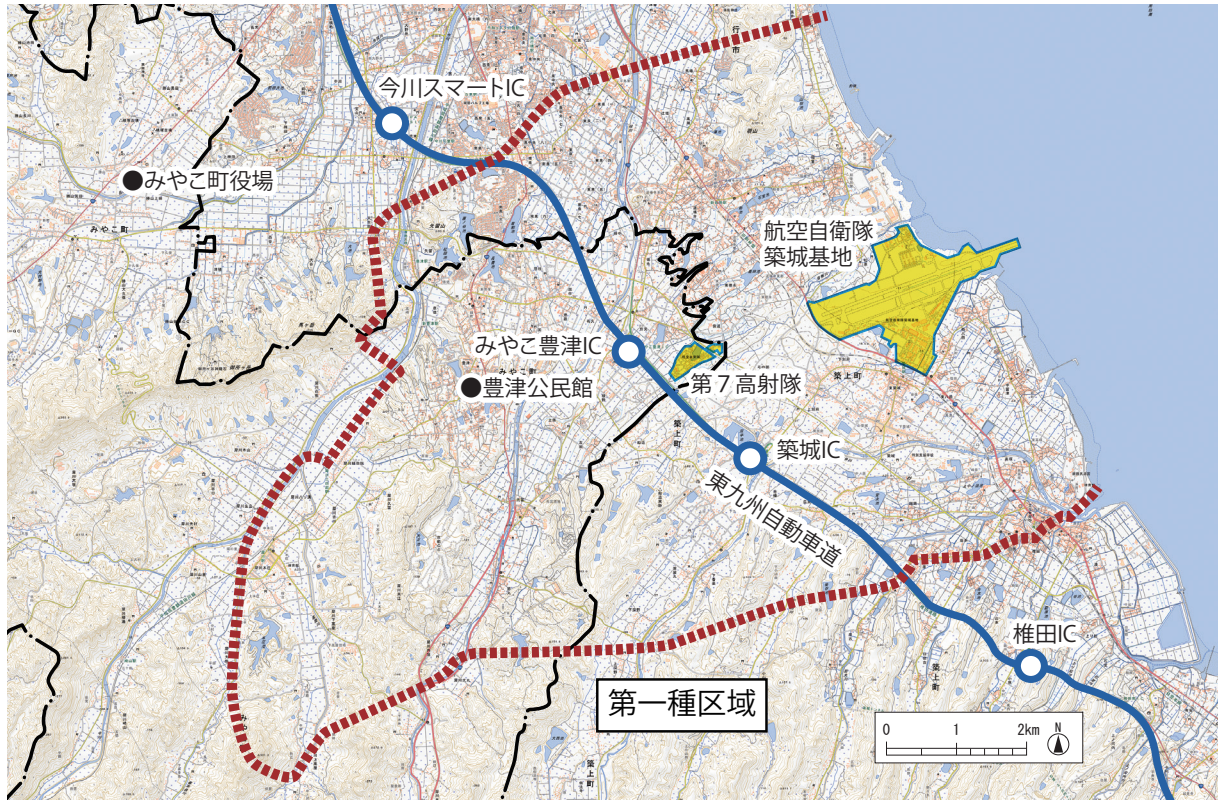


図 対象地の位置／資料：地理院地図（国土地理院 HP）

（※注1）第一種区域とは、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第4条に基づき、飛行場などの周辺の航空機の音がうるさい地域として防衛大臣が指定する区域です。区域が指定されたときに所在する住宅を所有している方などが行う防音工事に対して助成が行われます。



図 駅やバス停から計画対象地へのアクセス

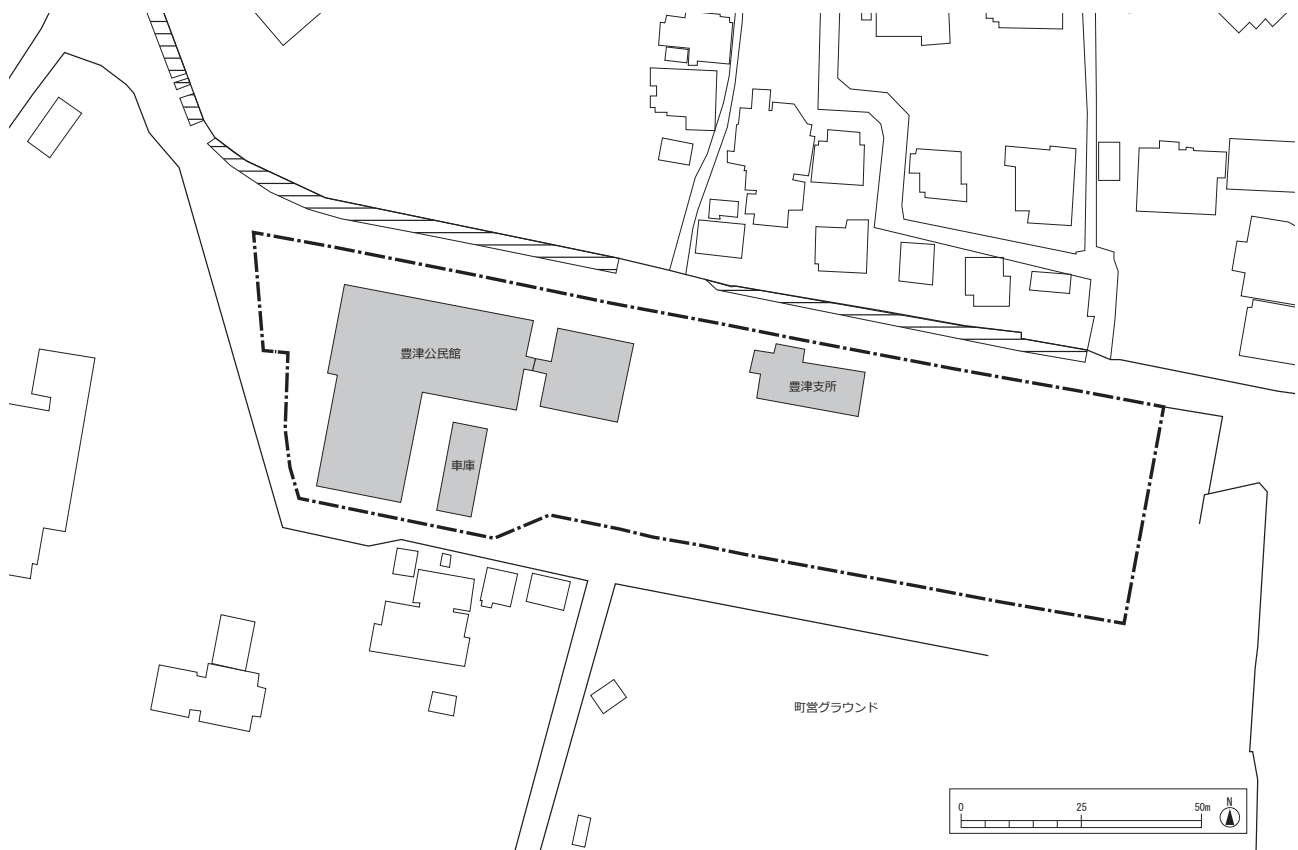


図 対象地の範囲

福岡県京都郡みやこ町豊津 1118 番地

【敷地概要】

敷地面積	11,400㎡
前面道路	町道 ガランデ・巢鳥線 幅員 5.5 m以上

【敷地条件】

都市計画区域	都市計画区域内
用途地域	無指定
防火地域	指定なし
その他の地域地区	なし
建ぺい率	70%
容積率	200%
高さ制限	道路斜線 隣地斜線
日影規制	なし

第1章 現況把握と整備課題の整理

1. 対象地や周辺施設などの現況把握

(1) 対象地

対象地には豊津公民館と豊津支所が立地しています。

1) 既存施設

敷地の西にあるのが豊津公民館、敷地のほぼ中央に位置するのが豊津支所です。

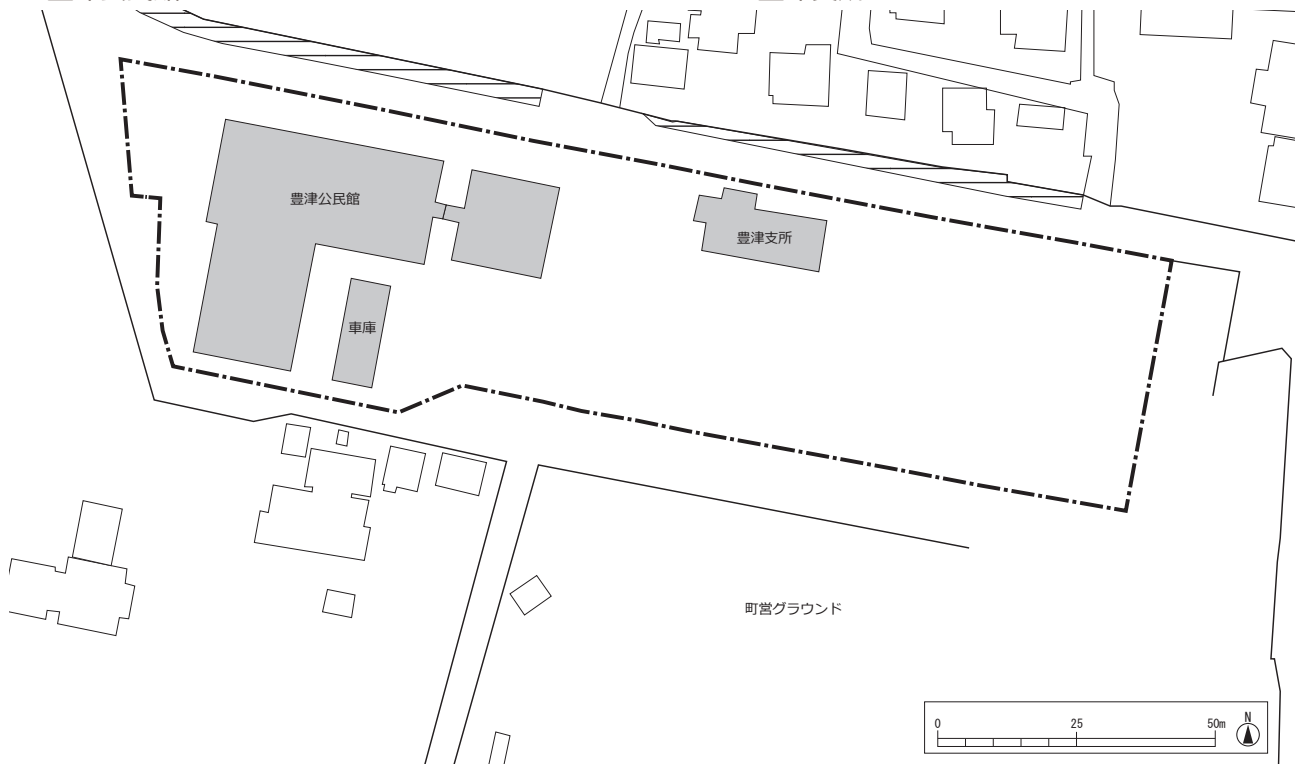
施設名	建築年	延床面積 (㎡)	構造	階数	方向性
豊津公民館	昭和 45 年 (1970 年)	1,734.83	R C	地上2階	コミュニティ拠点施設建築後に解体予定
豊津支所	平成 12 年 (2000 年)	400.95	L G S	地上2階	コミュニティ拠点施設建築前後に解体予定



豊津公民館



豊津支所



2) 既存施設の概要

①豊津公民館

●利用可能時間

豊津公民館の利用可能時間は午前9時から午後10時まで、休館日は12月29日から1月3日です。

●階数

2階建です。エレベーターはありません。

●構成と利用状況

豊津公民館の構成と利用状況は以下のとおりです。

<1階>

部屋名	構成や利用状況	面積 (㎡)
エントランスホール	- 一部にテーブル、椅子を配置しています。 - 掲示板もあり、公民館の玄関となっています。	175.5
大ホール	- 固定のステージ、階段状の固定座席があります。 - 楽屋はありません。 - コーラス、吹奏楽、新年会、健康診断等の各種行事で使用されています。	450.0
会議室 (小)	10人程度での利用に適した会議室です。 - 利用頻度は高い部屋です。	34.8
調理実習室	- コンロ、流し、冷蔵庫等があります。 - 調理台は4台あります。 - 催事で利用されるほか、各種料理教室も利用しています。	66.5
事務室	- エントランスホールに面して公民館の事務室が位置しています。窓口のカウンターがあります。 - 公民館の事務室の対面に住民団体の事務室が位置しています。	(公民館) 55.1 (住民団体) 66.5
トイレ	- 大ホールを挟んで男子トイレ、女子トイレが位置しています。男子トイレの中に多目的トイレがあります。 - 女子トイレは和式2個、洋式1個、手洗器2個があります。	30.0



エントランスホール



大ホール

<2階>

部屋名	現況	面積 (㎡)
2階ホール	・ テーブルと椅子があり、普段は公民館利用者の憩いの場となっています。 ・ ホールで展示会等が開催されています。	96.0
会議室（大）	・ 既存の公民館の中で一番大きな会議室です。 ・ パーティションで2つの会議室に分けることができます。	112.0
茶室（和室）	・ 8畳の2室で構成されています。 ・ 床の間、押入、水屋、炉等があります。 ・ 大ホールでのイベント等の開催に際して、控室として利用されています。 ・ 普段の利用は多くはありません。	55.1
コンピューター室	・ もとは結婚式場として使用されていた部屋です。 ・ 令和元年度の年間利用率は12%程度ですが、まったく利用されなかった月が4か月ありました。一方、9月と2月の利用率が40%を超えています。月ごとの利用率の差が大きくなっています。	46.4
配膳室	・ ガスコンロ、流し、棚等があります。 ・ ガスは止めていますが、流しが使用できます。	11.6
トイレ	・ 女子トイレは和式のみです。手洗器は2個あります。 ・ 男子トイレも大便器は和式です。	24.0



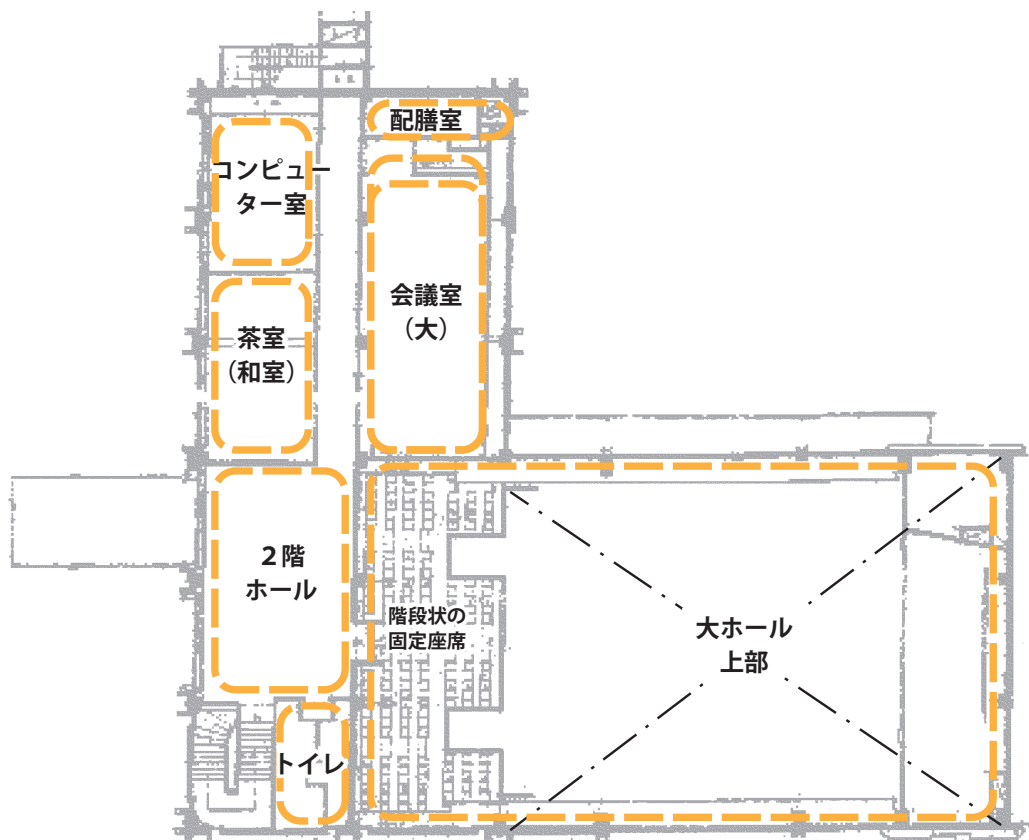
2階ホール



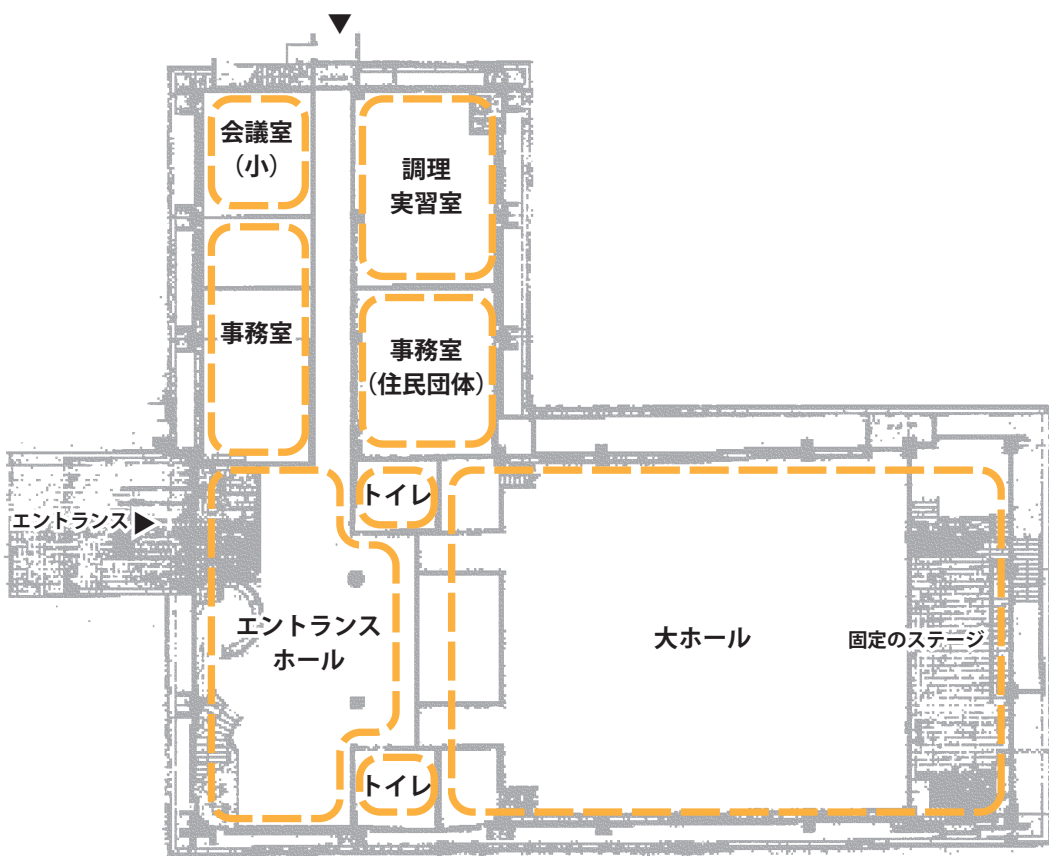
茶室（和室）



会議室（大）



現況 2階平面図



現況 1階平面図

●イベント等の開催状況

現在の豊津公民館で開催されているイベント等は以下のとおりです。

区長会議や新年あいさつ会のような恒例行事のほか、選挙やさまざまな交流会、セミナー等が開催されています。

開催月	イベント名	主催団体等
令和元年	5月 保育参観	認定こども園ときいろ
	5月 子ども体験教室「はじめてのプログラミング」	生涯学習課
	6月 子ども体験教室「はじめてのプログラミング」	生涯学習課
	6月 ダンス発表会	野上ダンス
	6月 ふれあいあそび	認定こども園ボランのひろば
	6月 ダンス発表会	文化協会 T.D.C
	7月 会津若松市少年交流事業	みやこ町子ども会育成連合会
	8月 木工教室	生涯学習課
	8月 子ども体験教室「はじめてのプログラミング」	生涯学習課
	8月 オセアニアオリンピック事前キャンプに伴う交流会	行政経営課
	9月 研修・子育て支援・学童保育	認定こども園ボランのひろば
	11月 クリスマス会	ZERO
令和2年	12月 スポーツ教室	認定こども園ボランのひろば
	1月 論語カルタ大会	豊津寺子屋実行委員会
	2月 こどものためのプログラミング教室	生涯学習課
	2月 古代体験教室	生涯学習課
	3月 体験型ワークショップ	認定こども園ボランのひろば



恒例行事（大ホール）



恒例行事（大ホール）



セミナー（2階会議室）

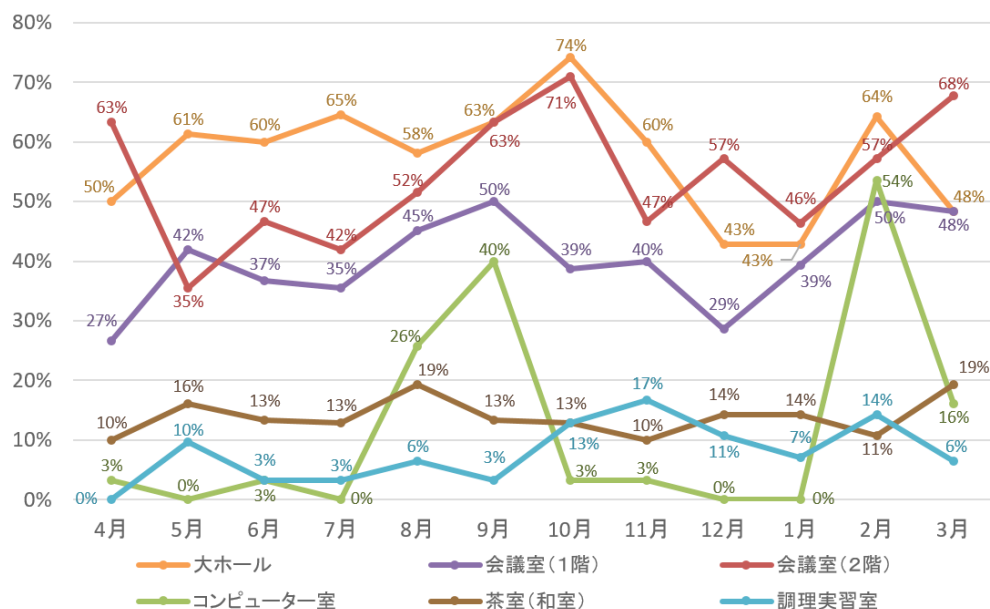


セミナー（2階会議室）

●年間利用状況

年間利用率が最も高いのは大ホールで、年平均 57%でした。次いで2階の会議室 54%、1階の会議室 40%でした。

一方、その他の室の利用率は年平均で 20%を下回っており、茶室 14%、コンピューター室 12%、調理実習室 8%となっています。ただし、コンピューター室は年間4か月利用がない一方、9月と2月の利用率が 40%を超えており、月ごとの利用率の差が大きくなっています。



令和元年度の豊津公民館各室の利用率（各月の日数に対する利用日数の割合）

【定期的な利用（週 1 回程度）のあるサークル】

文化協会 T.D.C
少林拳
墨すり書道教室
ダンスクラブ
戸塚刺繍教室
豊津寺子屋
豊津童謡を愛する会
豊津短歌会

楠木歌謡教室
彩友会（葉書記絵）
みやこ町蕎麦の会
錦ヶ丘上一隣組
豊津俳句会
豊津絵画教室
野上ダンス

●今後の予定

コミュニティ拠点施設の建築後に解体予定です。

②豊津支所

●利用可能時間

豊津支所の窓口業務を行っている時間は月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時までです。

●階数

2階建です。エレベーターはありません。

●構成と利用状況

豊津支所の構成と利用状況は以下のとおりです。

<1階>

部屋名	現況	面積 (㎡)
豊津支所	・ 住民課豊津窓口係と税務課国土調査係を配置しています。	97.2
会議室	・ 支所の会議室として利用しています。	12.96
事務室	・ 事務室として利用しています。	19.44

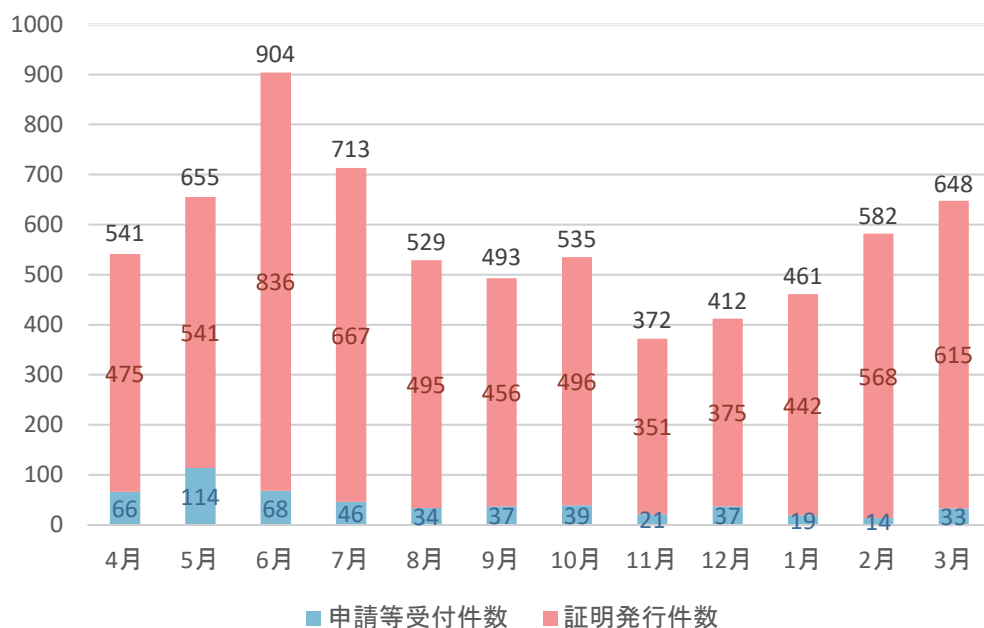
<2階>

部屋名	現況	面積 (㎡)
書庫	・ 町に関する公文書を保管しています。	97.2
倉庫	・ 倉庫として利用しています。	51.8

●年間利用状況

豊津支所には、年間で最も多いときには1か月の利用者が900人を超えています。

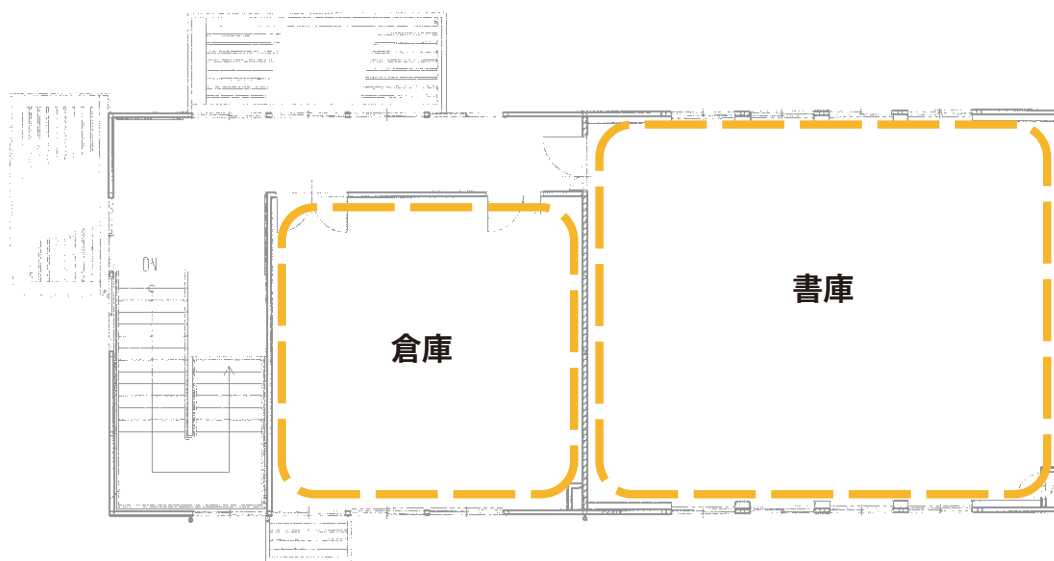
その内訳は、各種証明書の発行が大半を占めています。



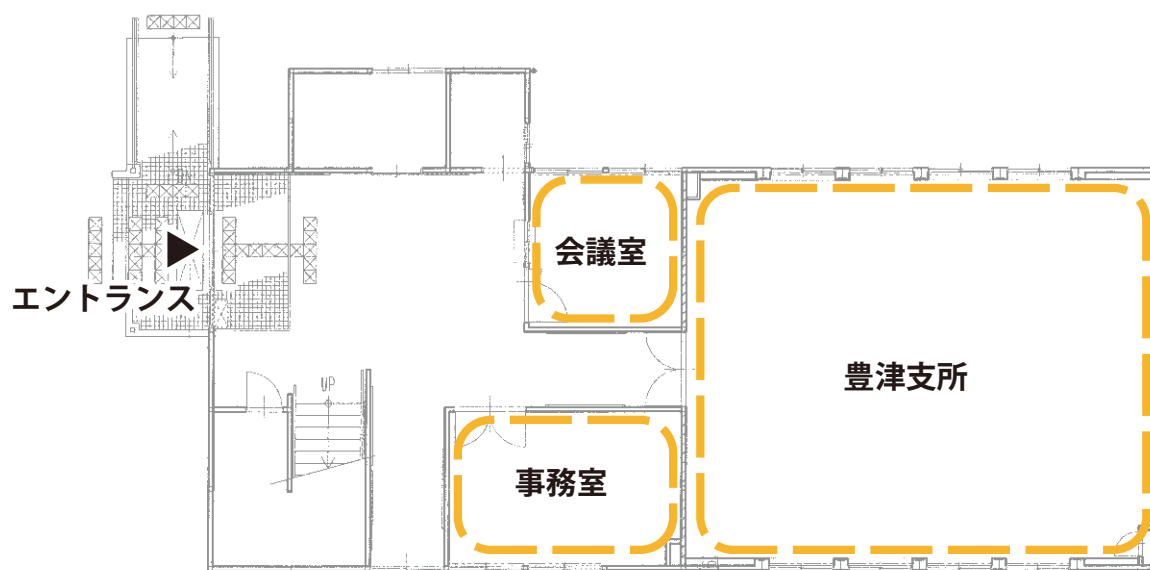
令和元年度 豊津支所利用状況

●今後の予定

コミュニティ拠点施設の建築前後に解体予定です。



現況 2階平面図



現況 1階平面図

豊津支所平面図

(2) 周辺施設

1) 各施設の場所

対象地の周辺には中央図書館、歴史民俗博物館、豊津体育館、豊津隣保館、豊津保育所、豊津小学校、育徳館中学校・高等学校が立地しています。また、巢鳥池の南には豊津福祉センター「すどりの里」があります。これら周辺施設は、県立の育徳館中学校・高等学校を除いて、町立の施設です。

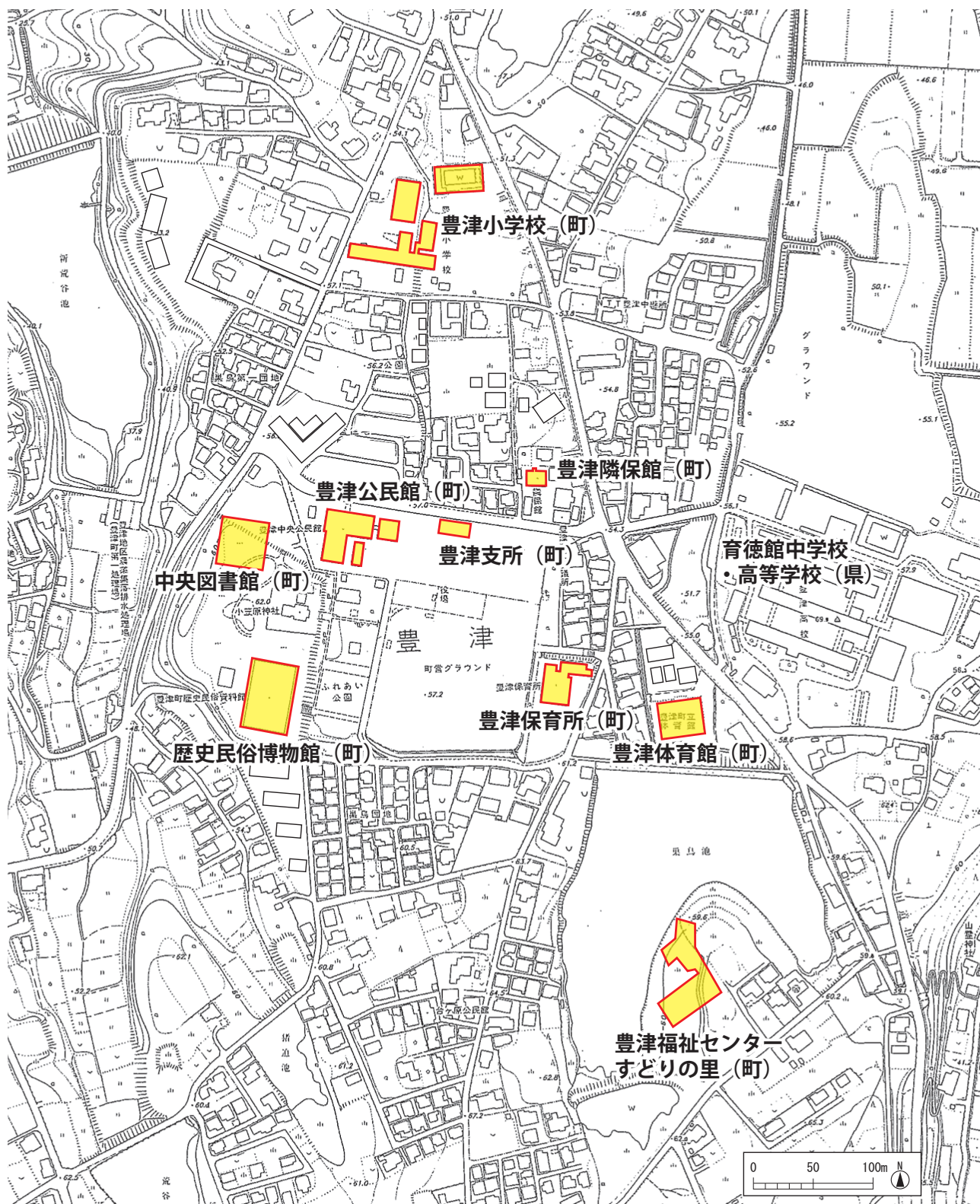


図 豊津公民館や豊津支所と周辺施設の位置

2) 周辺施設の概要（町施設について）

町立の周辺施設の概要を以下に示します。

施設名	建築年	延床面積 (㎡)	構造	階数
中央図書館	平成 13 年 (2001 年)	1,390.00	R C	1
歴史民俗博物館	平成 5 年 (1993 年)	1,873.06	R C	1
豊津体育館	平成 7 年 (1995 年)	2,231.78	R C	1
豊津隣保館	昭和 51 年 (1976 年)	395.24	R C	2
豊津保育所	昭和 45 年 (1970 年)	718.89	R C	1
豊津小学校	昭和 43 年 (1968 年)	4,027.00	R C	3
豊津福祉センター「すどりの里」	平成 9 年 (1997 年)	1,936.59	R C	1

3) 周辺施設の再配置計画（町施設について）

周辺施設の再配置計画について、『みやこ町公共施設再配置計画』に定められています。

同計画を踏まえると、現段階において周辺施設は、長寿命化や予防保全などが計画、検討され、廃止が予定されるものではありません。

表 周辺施設の再配置計画の概要

施設	再配置計画
中央図書館	・計画的な予防保全を行うことにより、長寿命化を推進します。
歴史民俗博物館	・現状維持とし、予防保全型の維持管理を進めます。
豊津体育館	・廃止し、機能を豊津 B & G 体育館に集約します。 ・将来的な町内 1 箇所への集約については、改めて検討します。
豊津隣保館	・計画的な予防保全を行うことにより、長寿命化を推進します。
豊津保育所	・久保保育所とともに、公立保育所として残す 1 所の維持も含め、民営化について検討します。
豊津小学校	・豊津地域内の 3 小学校（豊津・節丸・祓郷小学校）を豊津小学校内に統合します。
豊津福祉センター「すどりの里」	・平成 30 年度末にふれあい窯を廃止、令和 8 年度に大浴場を廃止し、福祉機能に転用します。 ・あそびの家は、計画的な予防保全を行うことにより、長寿命化を推進します。

2. 類似施設の把握

コミュニティ拠点施設の整備に向けた課題整理にあたって、類似施設の把握を行いました。

(1) 町内の類似施設

全ての住民を対象とした類似施設としてみやこ町総合文化センター「サン・グレートみやこ」、みやこ町コミュニティセンター「いこいの里」、「みやこ町中央公民館」、および対象地に隣接する類似施設として、みやこ町豊津福祉センター「すどりの里」を紹介します。

1) みやこ町総合文化センター「サン・グレートみやこ」

役場に隣接する町民文化系施設です。図書館、3つの楽屋を備え固定席のあるホール、5つの研修室、3つの和室、調理室、会議室があります。ホールの利用に関しては、グランドピアノの貸し出しがあり、クラシックコンサート等も開催可能なホールとなっています。

みやこ町公共施設再配置計画では、一部機能の廃止・転用、改修や長寿命化が計画されています。

所在地	福岡県京都郡みやこ町勝山黒田 86 番地 1	
主な構成	図書館、ホール、研修室、会議室、和室、調理室	
写真		

2) みやこ町コミュニティセンター「いこいの里」

保健・福祉施設です。平屋建の建物で、和室（大、中、小）、会議室（大、中、小）、図書館の他、文化芸能館・木工館・陶芸館といった用途が特化した施設、そして町内の方のみ利用できる浴室もあります。

みやこ町公共施設再配置計画では、一部機能の廃止・転用、改修や長寿命化が計画されています。

所在地	福岡県京都郡みやこ町犀川古川 50 番地	
施設の主な構成	和室（大、中、小）、会議室（大、中、小）、図書館、文化芸能館、木工館、陶芸館、浴室	
写真		

3) みやこ町中央公民館

旧犀川支所に隣接する町民文化系施設です。2階建の建物で、講堂、研修室和室2、調理室、会議室、視聴覚室）があります。

みやこ町公共施設再配置計画では、支所機能を集約するとともに、計画的な予防保全を行うことにより、長寿命化を推進することが計画されています。

所在地	福岡県京都郡みやこ町犀川本庄641番地1
施設の主な構成	講堂、研修室（和室2、調理室、会議室、視聴覚室）
写真	

4) みやこ町豊津福祉センター「すどりの里」

豊津公民館の南に位置する保健・福祉施設です。平屋建の建物で、集会室、研修室A・B、生涯学習室、調理室、遊びの家があります。

みやこ町公共施設再配置計画では、平成30年度末にふれあい窯を廃止、令和8年度に大浴場を廃止し、福祉機能に転用すること、また、あそびの家は、計画的な予防保全を行うことにより、長寿命化を推進することが計画されています。

所在地	福岡県京都郡みやこ町豊津 2174 番地
施設の主な構成	浴室、休憩室、集会室、研修室、生涯学習室、調理室、遊びの家
写真	

（２）他都市の類似施設

コミュニティ拠点施設の参考事例として、他都市の類似施設を把握しました。

以下、各施設から参考となった施設整備の工夫等を紹介します。

１）築上町コミュニティセンター「ソピア」：福岡県築上郡築上町大字築城 253-1

給湯室、調理コーナー、談話室が連続して配置されるとともに、調理コーナーと談話室を仕切るシャッターを開くと、調理コーナーと談話室を一体的に利用することが可能となります。

多目的ホールのステージの裏には、楽屋や倉庫があり、裏側からの荷物の搬入動線も確保されています。



会議室と連続した調理コーナー



多目的ホールステージへの搬入口

２）久留米市生涯学習センター「えーるピア久留米」：福岡県久留米市諏訪野町 1830-6

久留米市の生涯学習センターです。吹き抜けのエントランスホールにテーブルやベンチが配置され、エントランスホール全体が来訪者の憩いの場になっています。エントランスホールに隣接して、市役所の一部の窓口が置かれています。



エントランスホールと支所窓口



市民ギャラリー等に利用できるフリースペース

3) 宮若市若宮コミュニティセンター「ハートフル」：福岡県宮若市福丸 272-1

乳幼児を遊ばせることができるキッズルームや市民が憩える談話室が、壁で閉じられておらず、エントランスホールに面して設けられています。

会議室は、廊下側の上がすりガラス、下が透明ガラスとなっており、廊下側からも中の様子がわかるようになっています。



エントランスホールに面したキッズコーナー



廊下から中の様子がわかる会議室

4) うきは市生涯学習センター「るり色ふるさと館」：福岡県うきは市吉井町 983-1

うきは市の生涯学習センターです。エントランスに開かれた多目的スペースに面して、ガラス張りで清潔感のある調理室が設けられています。調理室のガラス張りの間仕切りを開けば、調理室と多目的スペースを一体的に利用することが可能です。

多目的スペースには、キッズコーナーがあり、その場所は、調理室からも見えやすい場所となっています。



エントランスホールに隣接した調理室



エントランスホール内のキッズコーナー

3. 整備に向けた検討課題の整理

「1. 対象地やその周辺の現況把握」、「2. 類似施設の把握」、および住民意見（参考資料：住民意向調査参照）を踏まえ、基本構想で掲げた基本理念【誰もが「豊かな交流」と「安心」を身近に感じるコミュニティ拠点の形成】に向けた施設整備の課題を以下に整理します。

（１）主な利用者の想定について

アンケートから、公民館に行ったこともない、最近利用したことがない住民が多いことが明らかとなりました。一方、ワークショップからは、コミュニティ拠点施設の整備にあたって、これまで公民館を日常的に利用してきた一部の住民にとどまらず、広く多くの人々に利用される施設を望む意見が多くありました。

コミュニティ拠点施設の整備にあたって、豊津地域に暮らす住民とするか、あるいは地域外からの来訪者も含むのか、施設整備の前提として当該施設の主な利用者の想定が必要です。

（２）施設のあり方について

ワークショップでは、立ち寄りやすいコミュニティ拠点施設としての整備を望む声が多くありました。

基本理念に掲げた【誰もが「豊かな交流」と「安心」を身近に感じるコミュニティ拠点の形成】に向けて、高齢者への配慮は言うまでもありません。加えて、周辺施設には県立中学校・高等学校・町立小学校・保育所等があり、子ども達や子育て世代なども立ち寄りやすい施設としていくことが望まれています。高齢者から子どもまで、多世代が利用しやすく、訪れたい施設としてのあり方が問われています。

なお、新型コロナウイルス感染拡大がいつ収束するかわからない現状もあります。新しい生活様式を見据え、如何に対応していくかも検討していくべき課題の一つです。

（３）施設構成について

基本構想において、コミュニティ拠点に求められる導入機能として、交流機能、支所機能、備蓄機能、避難所機能を設定しました。そして、アンケートやワークショップなどを踏まえ、整備に求められる施設内容案として、交流機能については多目的ホール、会議室、料理実習室、キッズコーナー、休憩コーナー、多目的スペース、支所機能については受付窓口と事務室、そして避難所の備蓄機能として備蓄倉庫を明記したところです。

本計画においては、基本構想やみやこ町公共施設再配置計画を踏まえ、町内の類似施設との役割分担、ランニングコスト、将来のICTへの対応等を考慮し、必要不可欠な施設構成を更に絞り込み、無駄のない施設構成としていくことが求められています。

（４）施設配置について

計画対象地は、東西に長い敷地であるため、コミュニティ拠点施設の整備にあたって、施設をどこに配置するかも検討すべき課題です。

他方、対象地一帯はかつて豊前陣屋があったところです。現在、対象地の西側には中央図書館、歴史民俗博物館が位置するほか、小笠原神社もあり、緑豊かな歴史文化ゾーンが形成されています。

ゆとりある敷地を有効に活用し、周辺施設と連続した歩行者動線や災害時の避難動線の確保などに配慮しつつ、周辺施設との一体感の醸成に適した施設配置が求められます。

第2章 基本計画

1. 基本的な考え方

(1) 主な利用者の想定

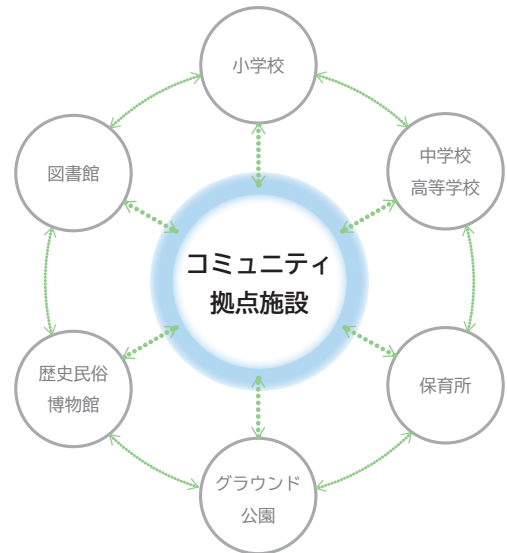
コミュニティ拠点施設の主な利用者は、豊津地域の人々を想定します。豊津公民館や豊津支所を利用していた方々の利用はもちろんですが、近くには小学校、高校、保育所等が位置することから、子ども達や子育て世代の利用に配慮します。

加えて、豊津地域外からの方でも歴史民俗博物館、中央図書館等を訪れた方も利用者の想定に含みます。

また、災害時には、災害規模や避難施設の状況などに応じて、豊津地域外の人も一時避難等に利用しやすい施設を計画します。

主な利用者の想定

- ・豊津公民館や豊津支所を利用していた方
- ・豊津公民館に馴染みのなかった方
- ・園児、小学生、中学生、高校生、子育て世代の親
- ・歴史民俗博物館、中央図書館等を訪れた方
- ・災害時、一時避難された方



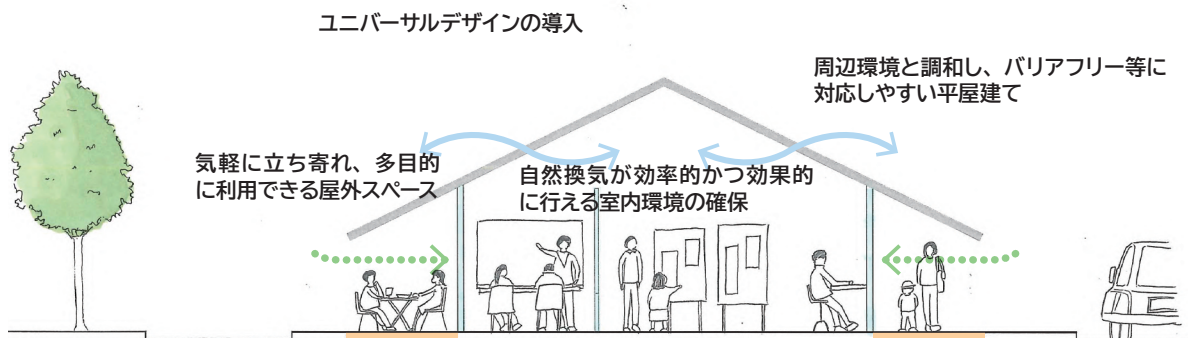
コミュニティ拠点施設の考え方

(2) 施設のあり方

コミュニティ拠点施設は、ユニバーサルデザインの導入に心がけ、人々が気軽に立ち寄れ、多目的に利用できる憩いの場（空間）となることを目指します。

敷地が広いことや、バリアフリー、維持管理のしやすさ、ランニングコストなどを考慮し、基本、平屋建とします。

自然換気が効率的かつ効果的に行える室内環境の確保、あるいは多目的に利用できる屋外スペースを確保する工夫に取り組みます。



気軽に立ち寄れる憩いの場のコンセプトイメージ

2. 施設構成

基本構想における方向性と内容（案）及び、住民を対象としたグループ意見交換会を踏まえ、検討した施設構成（案）を以下に整理します。

コミュニティ拠点施設は、交流機能、支所機能、備蓄機能から構成し、日常的なあらゆる利用を想定し、諸室を計画します。また、避難所機能も有する施設として、諸室は災害時の利用にも配慮した計画とします。

交流機能としては、多目的ホールのほか、基本構想の内容（案）で位置づけた会議室は、様々な利用に対応できる多目的室として検討します。料理実習室、キッズコーナーなどの利用が限定される内容は、休憩コーナー、多目的スペースと合わせることで、憩いエリアと屋外多目的広場とし、利用しやすい空間として検討します。

支所機能としては、受付窓口と事務室を一体的に利用できる支所＋事務スペースとして検討します。

備蓄機能は、防災倉庫との役割分担を意識した備蓄スペースとして検討します。

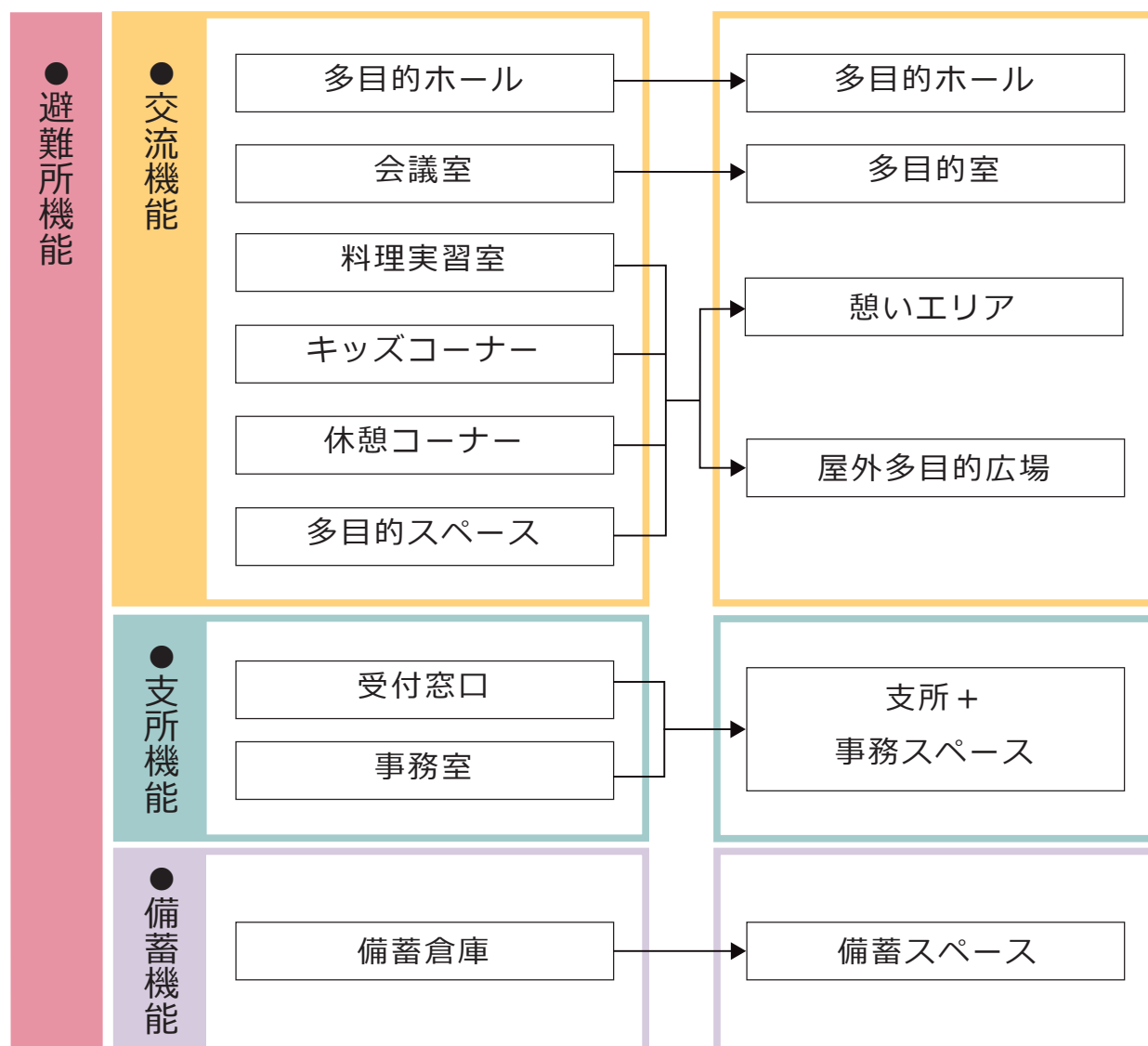
なお、施設構成（案）は現段階での検討案であり、決定しているものではありません。

基本構想における方向性と内容（案）

基本計画における施設構成（案）

<方向性>

<内容（案）>



(1) 交流機能

1) 多目的ホール

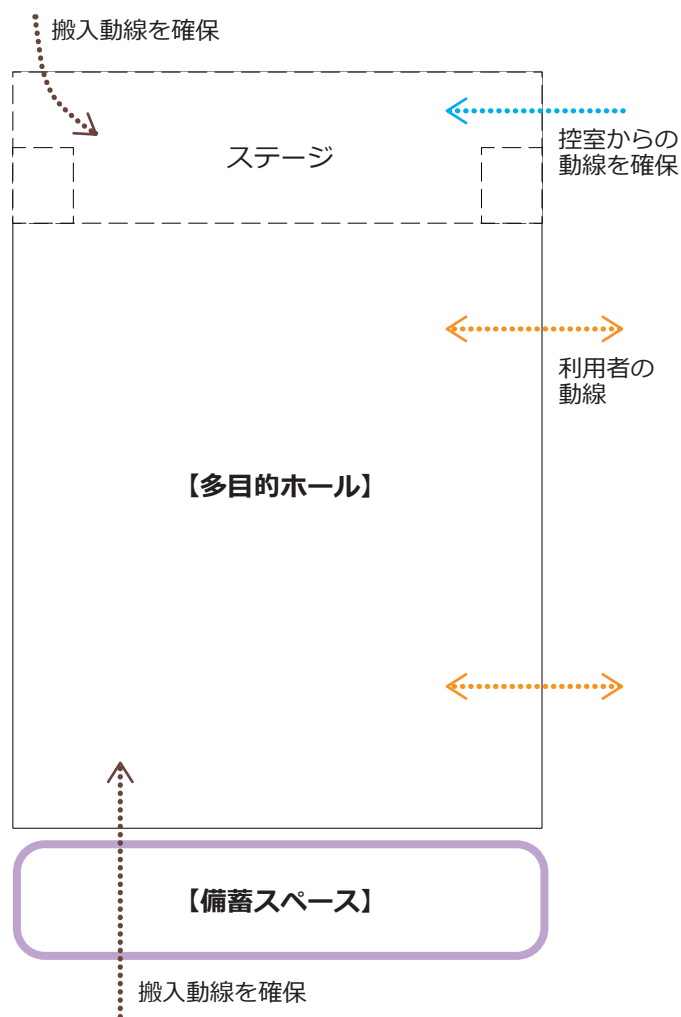
多目的ホールは、日常的なサークル活動での利用を想定するとともに、不定期の様々なシンポジウムやイベントに対応するものとします。利用しやすさに配慮し、固定式のステージを設置するものとします。座席はランニングコストや多目的な利用を考慮し、検討します。

資材等の搬入動線や控室となるスペースからの動線も考慮して検討します。

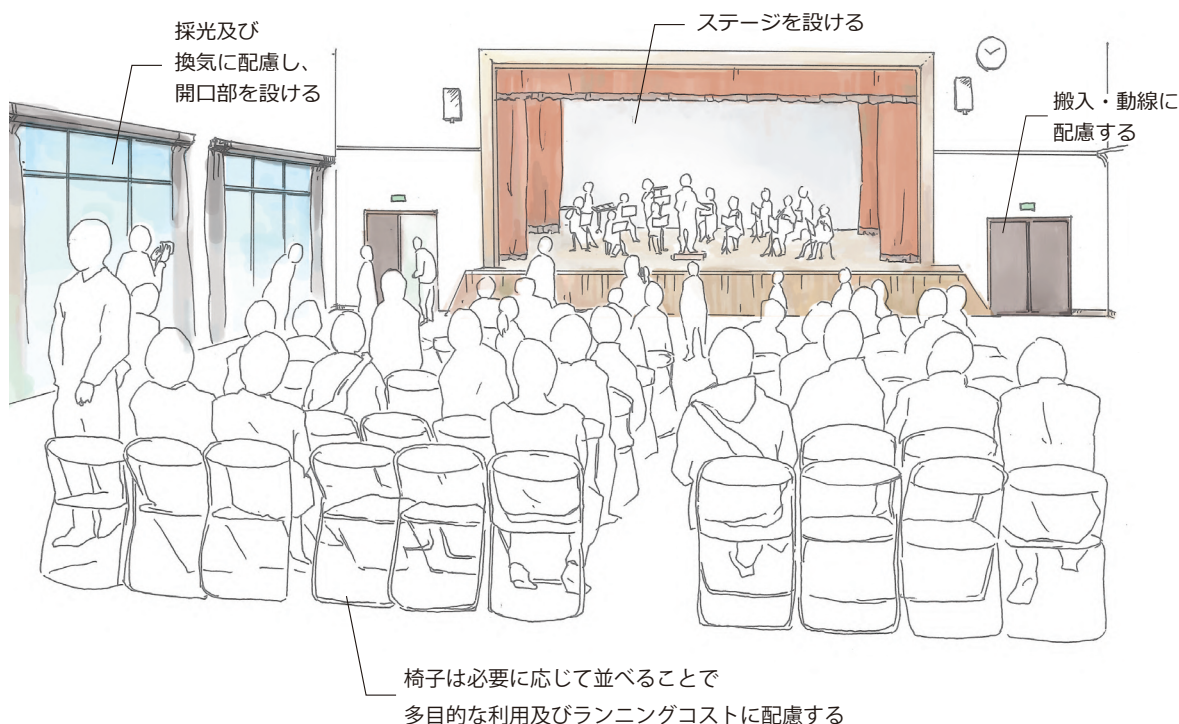
災害時には、避難者の生活スペースとして、円滑な活用が図られるよう、備蓄スペースからの搬入動線を意識した計画とします。

【利用例】

- ・様々なシンポジウム
- ・国際交流、世代間交流、自衛隊交流等のイベント
- ・音楽サークルやアーティストなどの音楽発表会
- ・住民ギャラリーとしてサークル活動等の作品展示
- ・健康増進の体操やダンススクール、運動系サークル等



多目的ホールイメージ (S=1:300)



多目的ホールの利用イメージ

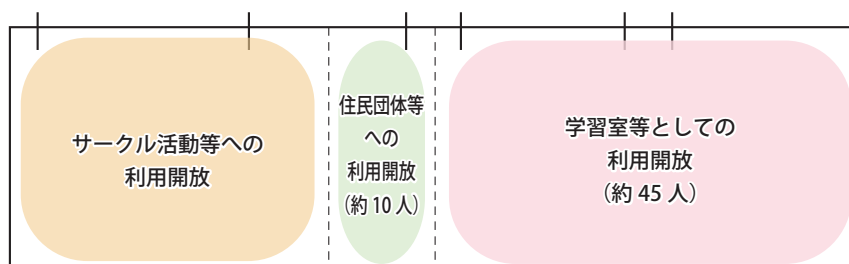
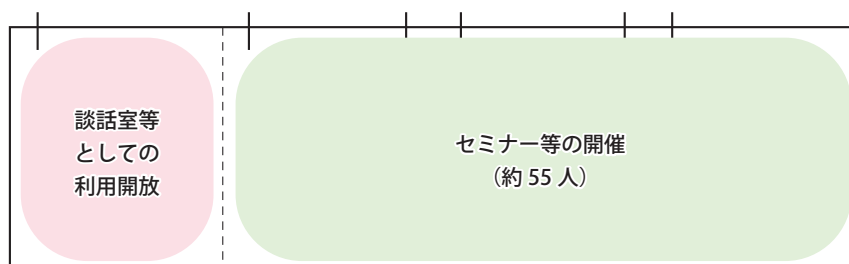
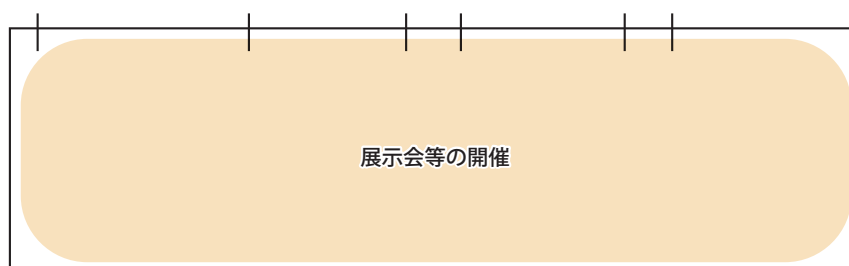
2) 多目的室

多目的室は、日常的なサークル活動や会合での利用を想定するとともに、不定期の様々な講習会、セミナー等にも対応するものとします。現況では10人程度の少人数での利用が多い一方、大人数での利用もあることを踏まえ、可動式間仕切りを設置することで、利用する人数や方法に合わせて、柔軟に室の大きさを確保できるようにします。

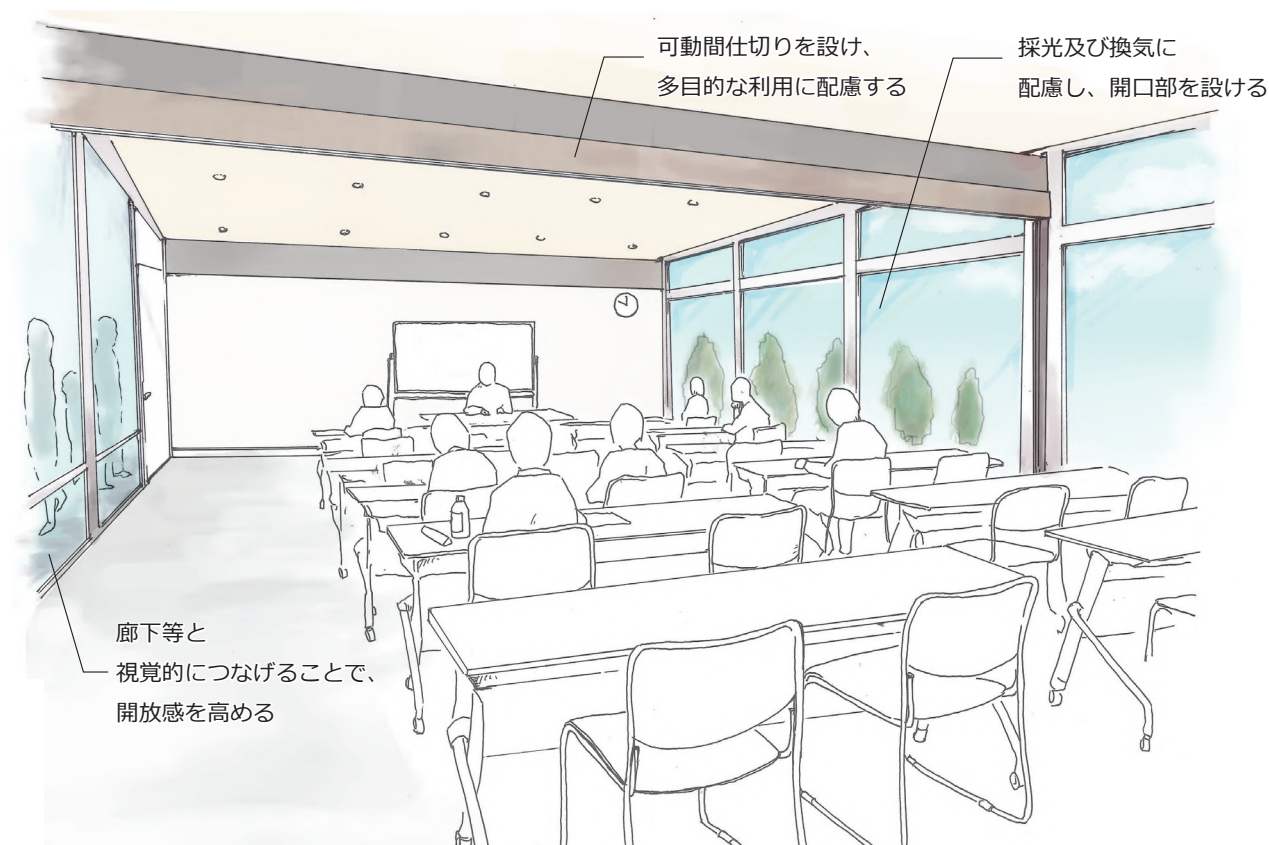
採光や換気のしやすさに配慮し、外壁に面しては開口部を積極的に設けることとします。また、間仕切り壁についても、部分的に開口部を設けるなど、室内が開放的な空間となったり、施設利用者相互の交流が図られたりするように配慮します。

【利用例】

- ・様々な講習会、勉強会、セミナー
- ・様々な人数の団体の会合
- ・書道、絵画、絵はがき、俳句、裁縫などの文化系サークル
- ・落ち着いた自習学習 等



多目的室のフレキシブルな利用イメージ



多目的室の利用イメージ

3) 憩いエリア

憩いエリアは、利用者がリラックスして休憩できるスペースとします。飲み物を飲んだり、利用者同士が談話を楽しんだりできるよう、自動販売機やソファやテーブルのほか、料理コーナーやキッズコーナーの設置を検討します。また、自然光を取り入れたり、周囲の景色を眺めたりするなど、心地よい空間となるよう検討します。

料理コーナーは、現況の調理実習室の利用率や、周辺施設の調理実習室の利用状況を考慮し、規模や設備などを検討します。一方、憩いエリア内や隣接する多目的室と一体的に利用できるようにすることで、イベント的な利用や災害時の利用にも対応できるものとします。

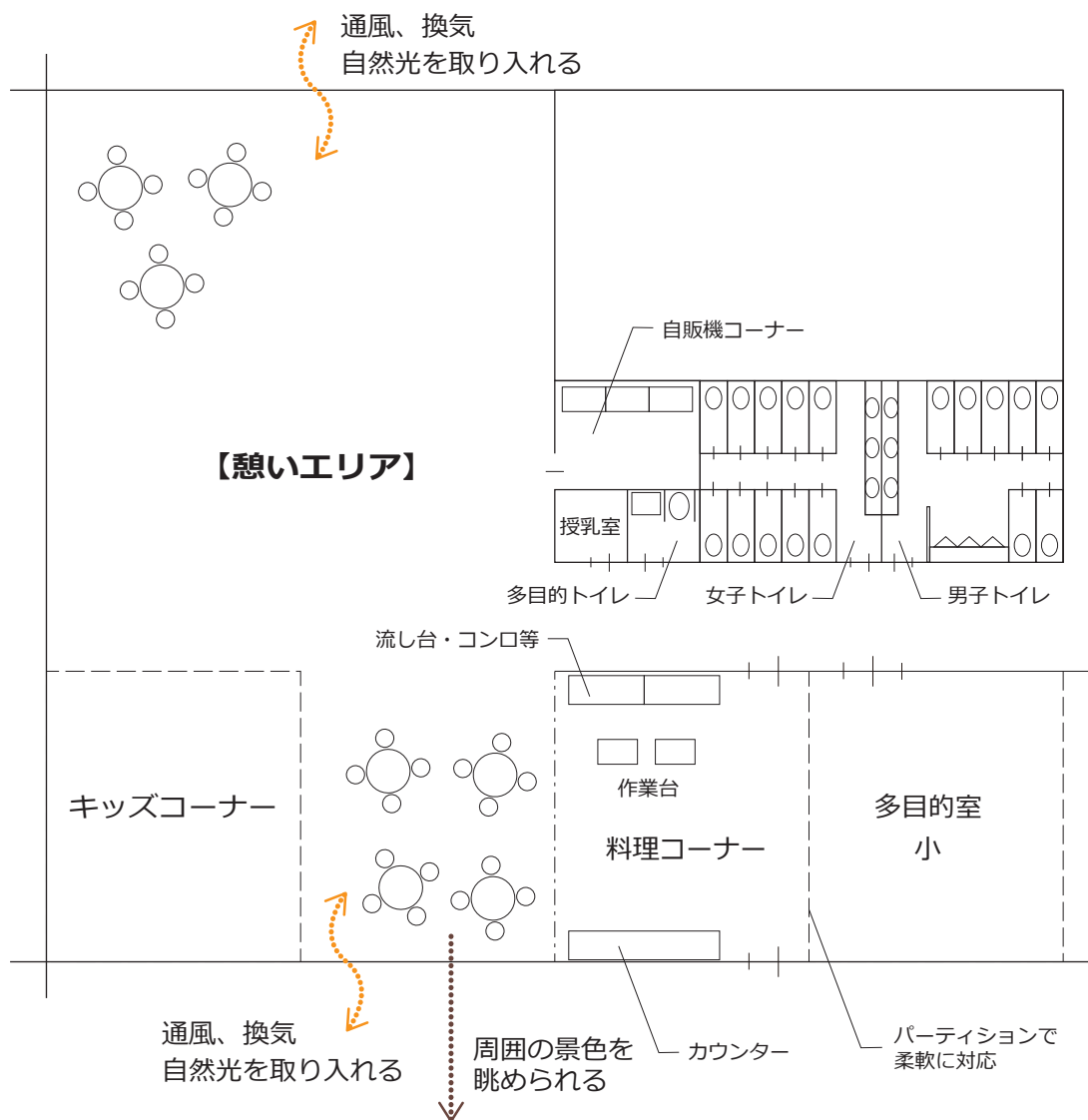
キッズコーナーは子どもが靴を脱いだり、安心して遊べるような空間とします。また、キッズコーナーから利用しやすい位置に授乳室等の配置を検討します。

トイレは、清潔で使いやすいものとし、男性用、女性用、多目的のそれぞれに必要なスペースを確保します。

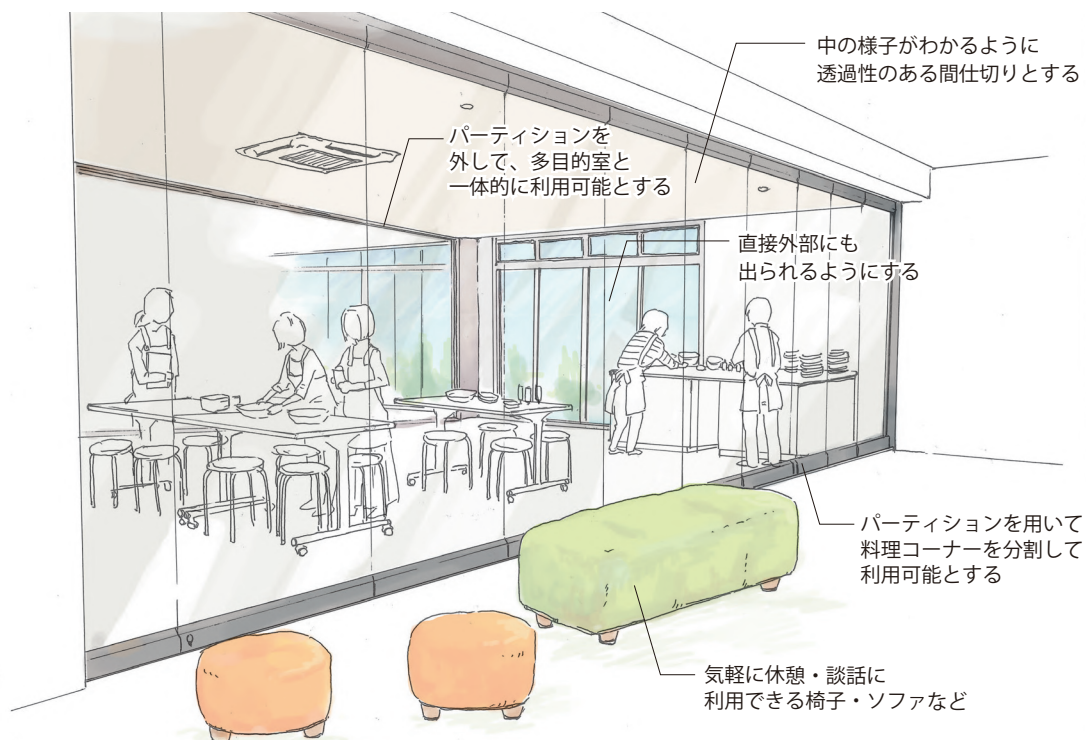
アンケートではカフェ、日用品店、金融機関の要望もありました。これらは、運営面を考慮し、設置を検討します。

【利用例】

- ・カフェや自販機などによる飲料の提供
- ・リラックスできる談話室
- ・料理教室
- ・子どもが安心して遊べる空間
- ・清潔で使いやすいトイレ 等



憩いエリアイメージ



憩いエリア内の料理コーナーの利用イメージ

4) 屋外多目的広場

屋外多目的広場は、周辺施設との連携を考慮した配置及び規模とします。

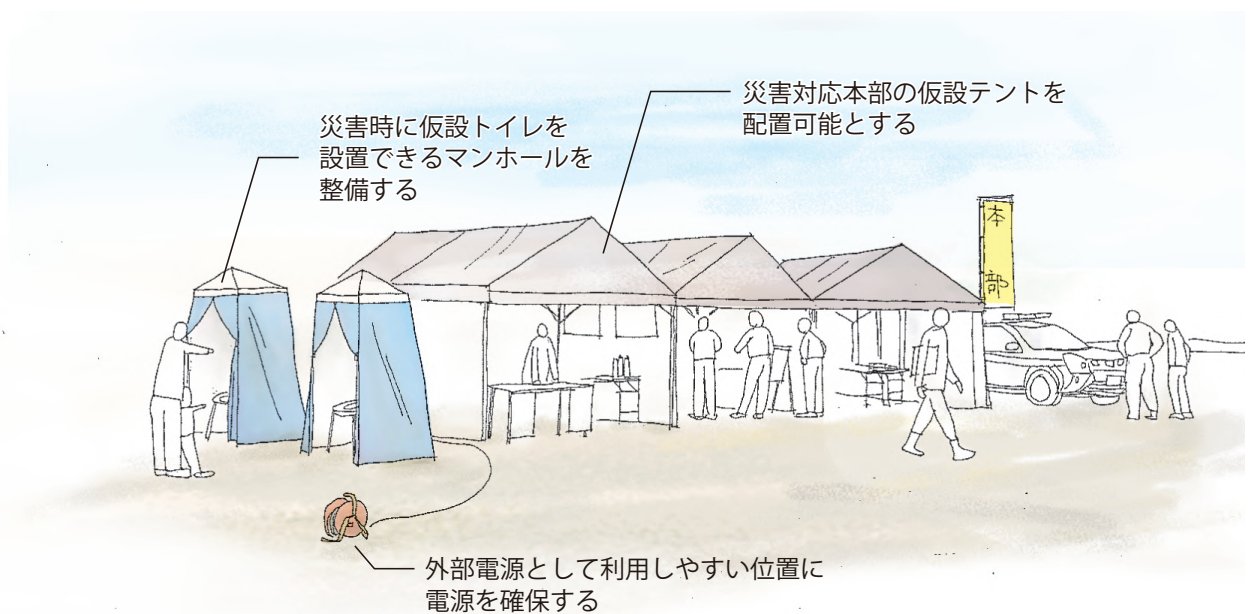
コミュニティ拠点施設及び周辺施設の利用者が利用できるまとまった駐車スペースを確保します。車椅子用駐車場はエントランスに近接して配置し、施設へのアプローチしやすさに配慮します。また、多目的ホール及び備蓄スペースへの搬入を考慮し、大型のトラックが駐車可能なスペースも確保します。

さらに様々なアクティビティに用いられるような快適なオープンスペースとします。

災害時は防災広場として機能することを想定し、必要な設備の整備を検討します。

【利用例】

- ・アクセスしやすさに配慮した自動車、バス、大型トラックの駐車スペース
- ・周辺と調和した広場
- ・災害時における緊急輸送活動のためのスペース（ヘリポート等）



(2) 支所機能

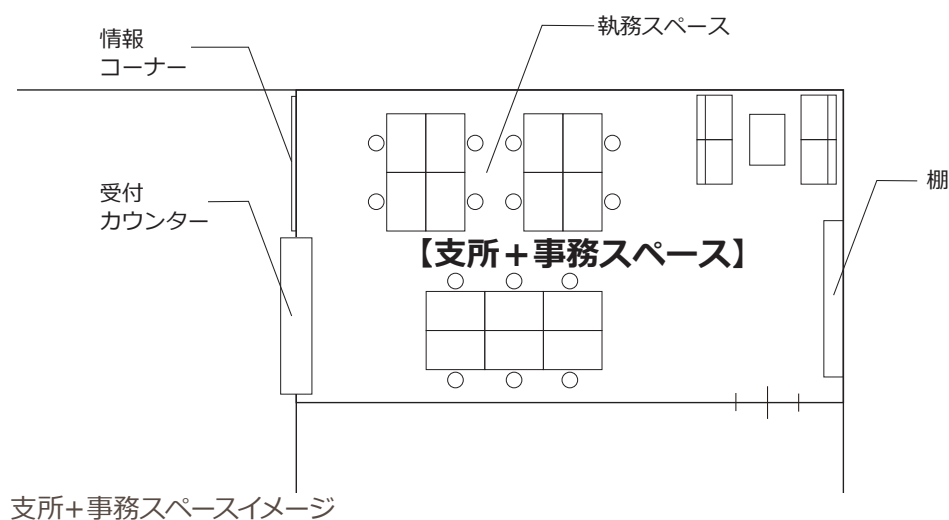
1) 支所+事務スペース

支所+事務スペースは利用者のわかりやすさや防犯面を考慮し、その配置を検討します。また、地域の様々な情報が得られるよう、情報コーナーを設け、資料の設置または展示を行います。

執務スペースの規模は、現在の豊津公民館管理事務室と豊津支所の状況を踏まえ、検討します。

【利用例】

- ・ワンストップで利用しやすい行政窓口
- ・様々な情報が得られる資料等の設置、展示
- ・職員の執務、会議 等



支所+事務スペースの利用イメージ

(3) 備蓄機能

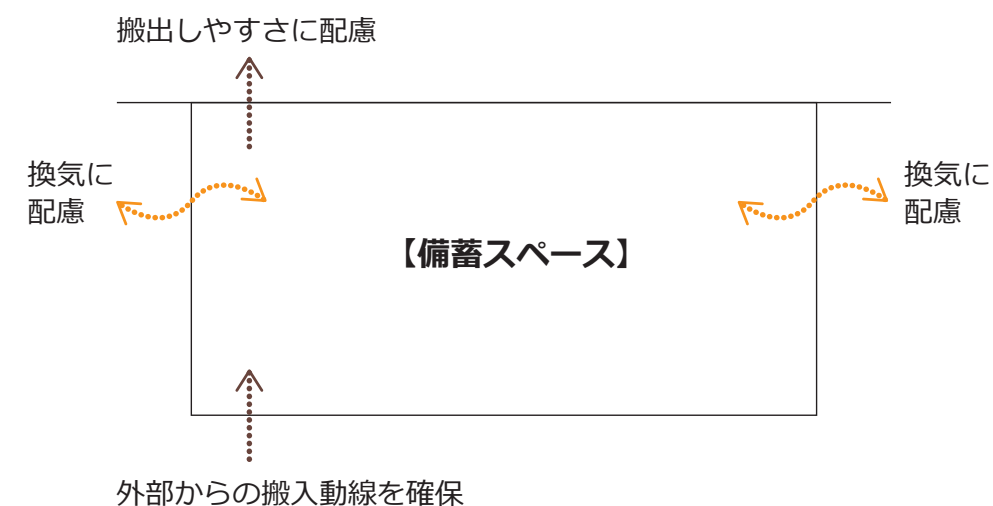
1) 備蓄スペース

備蓄スペースは、非常用の物資を備蓄する十分な規模を確保します。また、換気等のしやすさに配慮し、適切に物資を保存するための必要な設備を設けます。

物資の搬入動線や、災害時に避難者の居住スペースとなる多目的ホール、防災広場となる屋外多目的広場との動線が明快となるように検討します。

【利用例】

- ・災害用物資の備蓄、受け渡し
- ・非常用電源や貯水槽など資源の確保 等



備蓄スペースのイメージ

3. 施設配置の考え方

東西に長い計画対象地において、コミュニティ拠点施設の配置に関する比較検討を行います。施設配置は引き続き検討していく必要があり、本計画において、その方向性を検討します。

(1) 共通事項

中央図書館、歴史民俗博物館が位置していることから、緑豊かな歴史文化ゾーンの魅力を最大限活かしていくことに配慮します。

コミュニティ拠点施設の配置にあたって、現在の豊津公民館は、解体後、当面は周辺施設へのアクセスを含むワンストップ型の駐車場等として利用できる多目的広場とします。

敷地の周囲にバスや資材などを搬入するトラックが通行可能な自動車動線を確保します。

(2) コミュニティ拠点施設の配置に関する比較検討

上記を踏まえ、施設配置として、以下の案が考えられます。各案について長所と短所を整理します。

1) 敷地東側にコミュニティ拠点施設を配置する案

敷地東側にコミュニティ拠点施設を配置する案です。

長所として、敷地西側に大規模な広場空間が確保できます。また、この案は、コミュニティ拠点施設の配置に豊津支所の解体時期が大きく影響しないことも長所の一つです。

短所として、コミュニティ拠点施設が中央公民館や歴史民俗博物館などと遠くなることが挙げられます。

長所	短所
・敷地西側に大規模な広場空間を確保可能 ・平面計画の自由度が大きい	・周辺施設との距離が大きく、一体的に利用しにくい ・コミュニティ拠点施設の建設前に豊津支所建物を解体しない場合、床面積を抑える必要がある



2) 敷地中央にコミュニティ拠点施設を配置する案

中央公民館や歴史民俗博物館などとの一体感の醸成に配慮し、対象地の西側に寄せてコミュニティ拠点施設を配置する案です。

長所として、中央公民館や歴史民俗博物館などとコミュニティ拠点施設が近くなります。

短所として敷地の東西に広場が分けられることとなりますが、広場の使い方次第では大きな問題ではないと考えられます。

なお、コミュニティ拠点施設を敷地中央に配置するにあたって、豊津支所の解体時期に施設の平面計画が大きく左右されます。以下、2案の比較を行います。

① 建設前に既存の豊津支所を解体しない場合

豊津支所の支所機能を解体まで存続し、コミュニティ拠点施設の建設後に豊津支所からコミュニティ拠点施設に支所機能を直接移す案です。

長所として、コミュニティ拠点施設の建設前に豊津支所建物を解体しないため、一時的な機能移転の手間と予算の負担がありません。

短所として、豊津支所を避ける必要があり、豊津支所がコミュニティ拠点施設の平面計画の制約となります。

長所	短所
・周辺施設に近く、一体的に利用しやすい ・コミュニティ拠点施設の建設前に豊津支所建物を解体する必要がなく、機能の一時的な移転が不要	・施設内の平面計画に制約が多くなる ・豊津支所跡地空間の使い方に工夫が必要



敷地中央にコミュニティ拠点施設を配置する案（建設前に既存の豊津支所を解体しない場合）

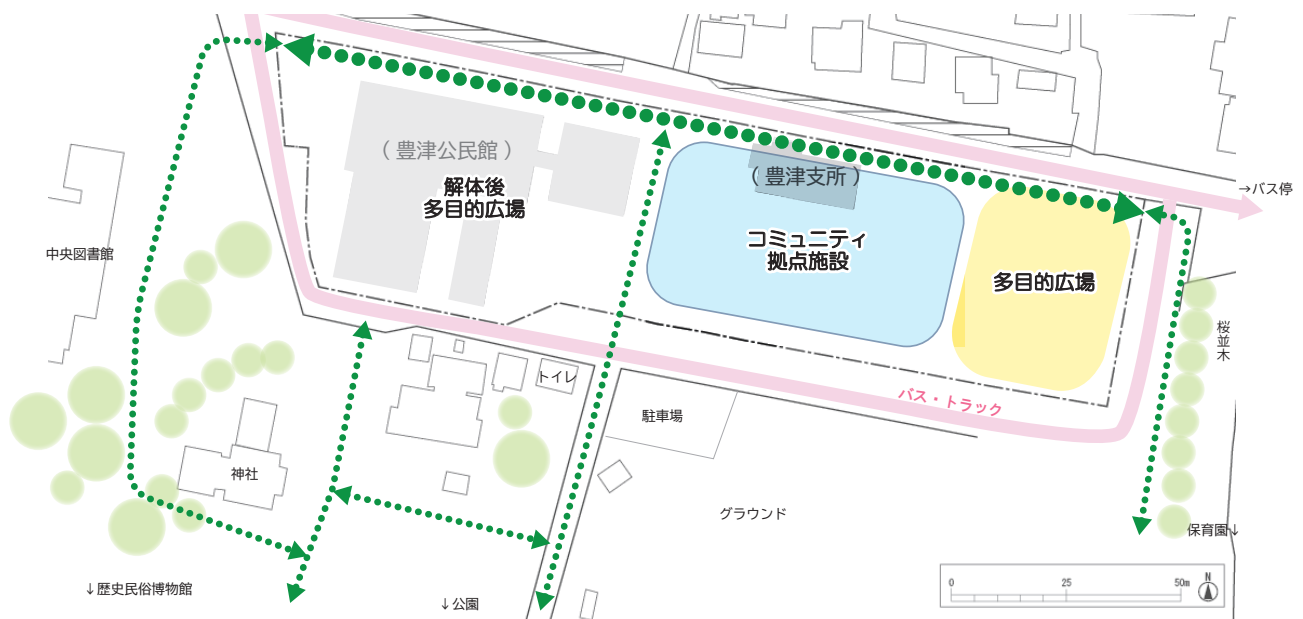
②建設前に豊津支所を解体する場合

コミュニティ拠点施設を建設する前に豊津支所を解体するため、支所機能を一度、既存の他施設に移し、コミュニティ拠点の建設後、改めて他施設からコミュニティ拠点施設に支所機能を移す案です。

長所として、コミュニティ拠点施設の建設前に豊津支所建物を解体するため、豊津支所を避ける必要がなくなり、豊津支所がコミュニティ拠点施設の平面計画の制約になりません。

短所として、一時的な機能移転の手間と予算の負担が必要となります。

長所	短所
・周辺施設に近く、一体的に利用しやすい ・敷地東側と西側にまとまった広場空間を確保可能 ・平面計画の自由度が大きい	・コミュニティ拠点施設の建設前に豊津支所建物の解体が必要なため、機能の一時的な移転が必要



敷地中央にコミュニティ拠点施設を配置する案（建設前に既存の豊津支所を解体する場合）

（３）比較検討のまとめ

コミュニティ拠点施設は、隣接して中央図書館と歴史民俗博物館が位置することから、緑豊かな歴史文化ゾーンの魅力を最大限活かしていくことを重視すると、対象地の中央に寄せて配置することが望めます。その際、既存の豊津支所を建設前に解体した方が平面計画もやりやすくなります。しかし、建設前に既存の豊津支所を解体する場合は追加予算の兼ね合いもありますので、実施計画において引き続き検討します。

4. 整備イメージ

「3. 施設配置の考え方」を踏まえ、整備イメージを3案作成しました。

主な利用者の想定、施設のあり方、施設の構成、そして施設の規模は、基本、共通としています。

(1) 施設の概要

敷地面積	11,400 m ²	階数	地上1階建て
建築面積	約 2,000 m ²	建ぺい率	約 20%
延床面積	約 2,000 m ²	容積率	約 20%

(2) 各案の整備イメージ

1) 各案の概要

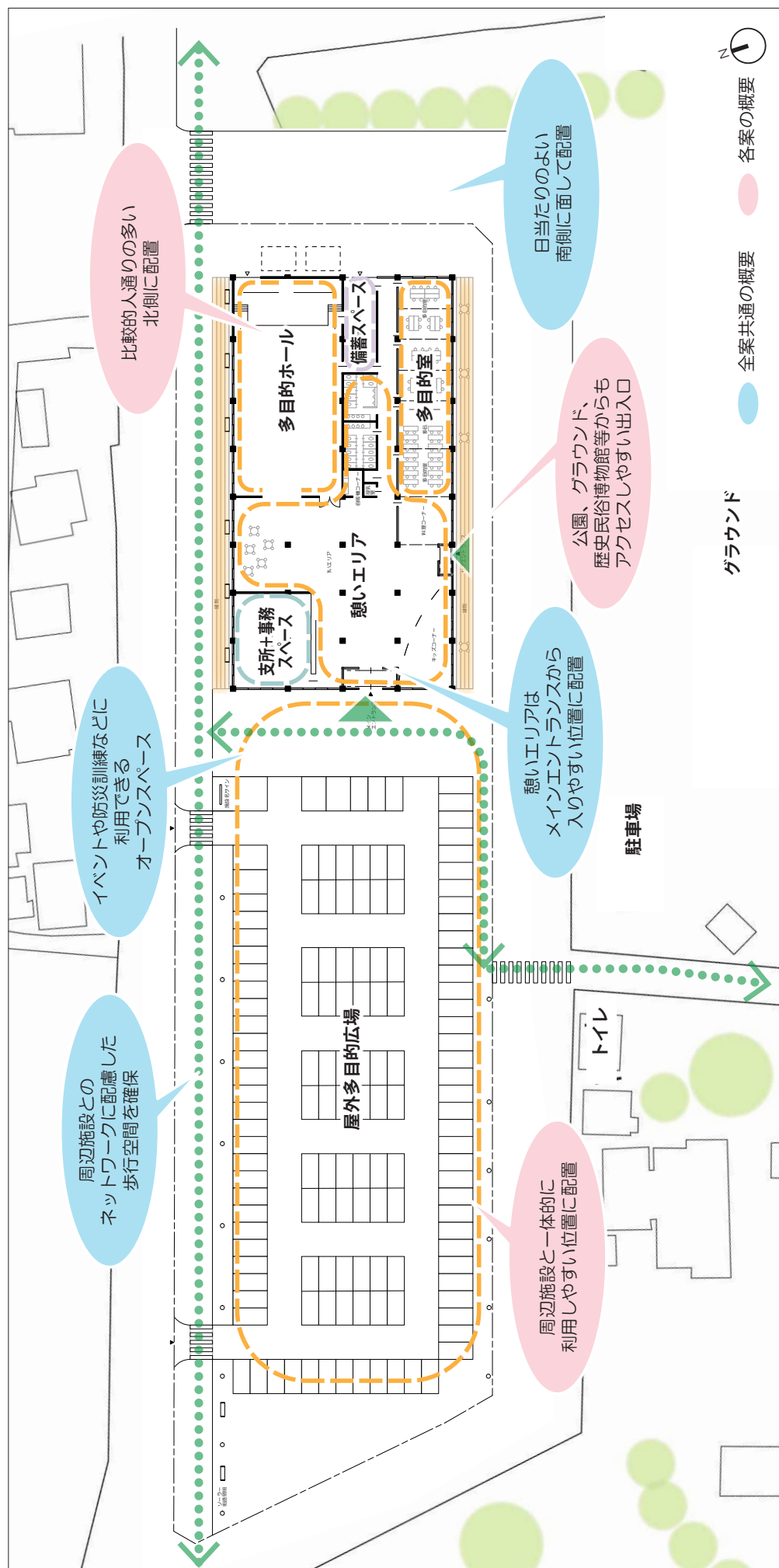
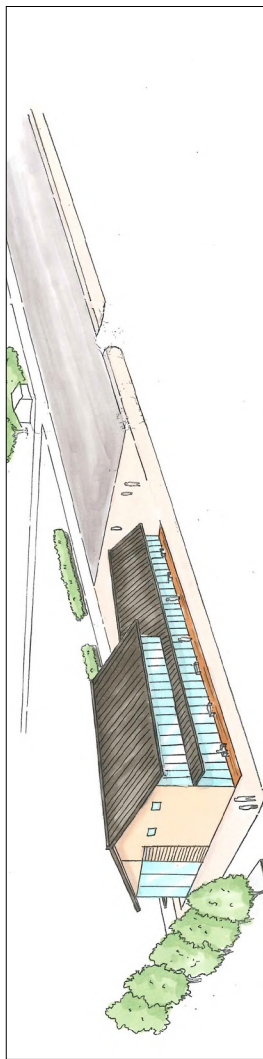
共通	・周辺施設とのネットワークに配慮した歩行空間を確保しています。 ・軒下空間を、施設の北と南に広く確保し、気軽に立ち寄れ、多目的に利用できる屋外スペースとしています。 ・メインエントランスから、まず気軽に利用しやすい憩いエリアに入るように配置しました。 ・各諸室は、憩いエリアを中心に配置しました。 ・日当たりのいい南側に多目的室を確保しています。 ・支所＋事務スペースはメインエントランスからわかりやすい位置に設けました。 ・屋外は、駐車場やイベントや防災訓練などに利用できる屋外多目的広場としています。 ・自然換気や自然採光を行いやすいように、また施設内の様子が外部からもわかりやすいように、開口部を積極的に設けています。
敷地東側に コミュニティ拠点施設 を配置する案 →整備イメージ1	・周辺施設と一体的に利用しやすい敷地西側にまとめた屋外多目的広場を設け、コミュニティ拠点施設を東側に配置しています。 ・多目的広場は日常利用として駐車場になることを想定し、西側の屋外多目的広場に面してメインエントランスを設けています。 ・多目的ホールを人通りが比較的多い北側の道路に面して設けています。
敷地中央に コミュニティ拠点施設 を配置する案 (建設前に既存の豊津支所 を解体しない場合) →整備イメージ2	・周辺施設からアクセスしやすい敷地中央にコミュニティ拠点施設を配置しています。 ・周辺施設と一体的に利用しやすい西側の屋外多目的広場をオープンスペースとします。 ・国道 496 号からアクセスしやすい東側の屋外多目的広場が日常利用として駐車場とすることを想定し、メインエントランスを施設の東側に設けています。 ・憩いエリアは、比較的人通りの多い北側の屋外多目的広場に面して配置しました。 ・多目的ホールを西側に配置し、災害時には西側の屋外多目的広場と一体的な利用を可能としています。
敷地中央に コミュニティ拠点施設 を配置する案 (建設前に既存の豊津支所 を解体する場合) →整備イメージ3	・周辺施設からアクセスしやすい敷地中央にコミュニティ拠点施設を配置しています。 ・メインエントランスを比較的人通りの多い北側の道路に面して設けています。 ・憩いエリアで、北側の道路と南側の道路、そしてグラウンドをまっすぐ結んでいます。 ・サブエントランスを南及び東側に設け、周辺施設等からもアクセスしやすくしています。 ・多目的ホールを西側に配置し、災害時には西側の屋外多目的広場と一体的な利用を可能としています。

2) 各案の整備イメージ

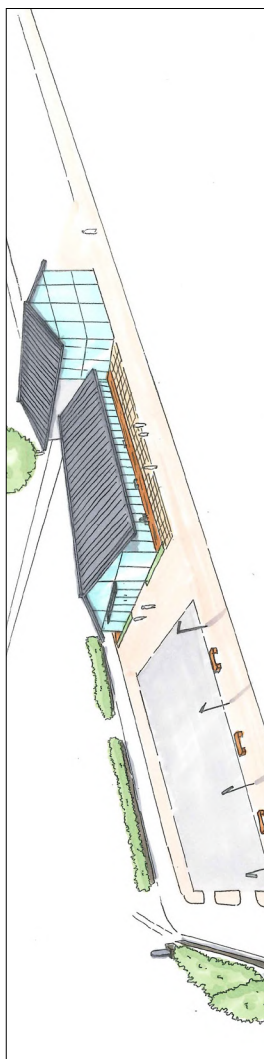
① 整備イメージ1

敷地東側にコミュニティ拠点施設を配置する案

■ 外観イメージ

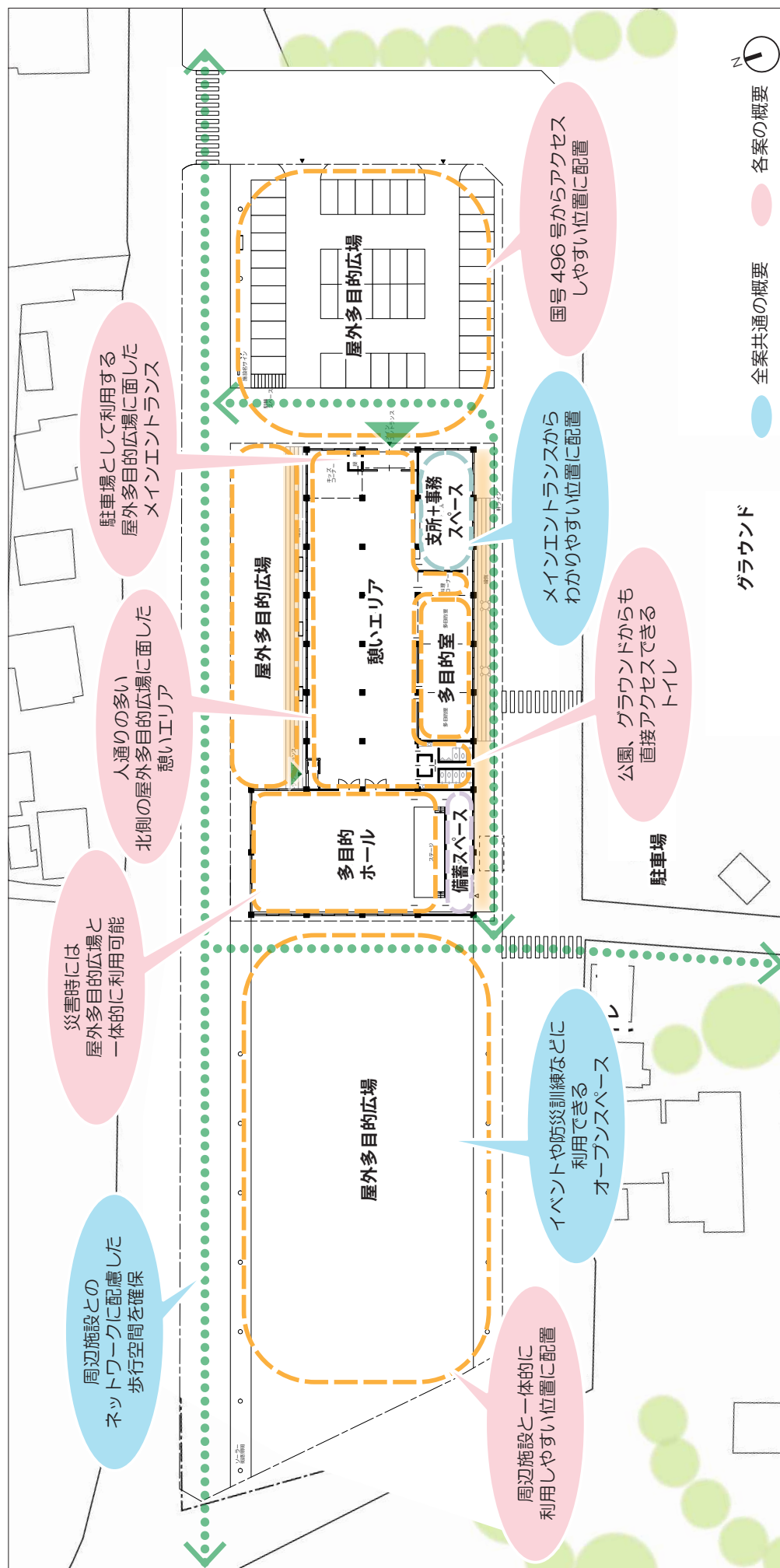


■ 外観イメージ



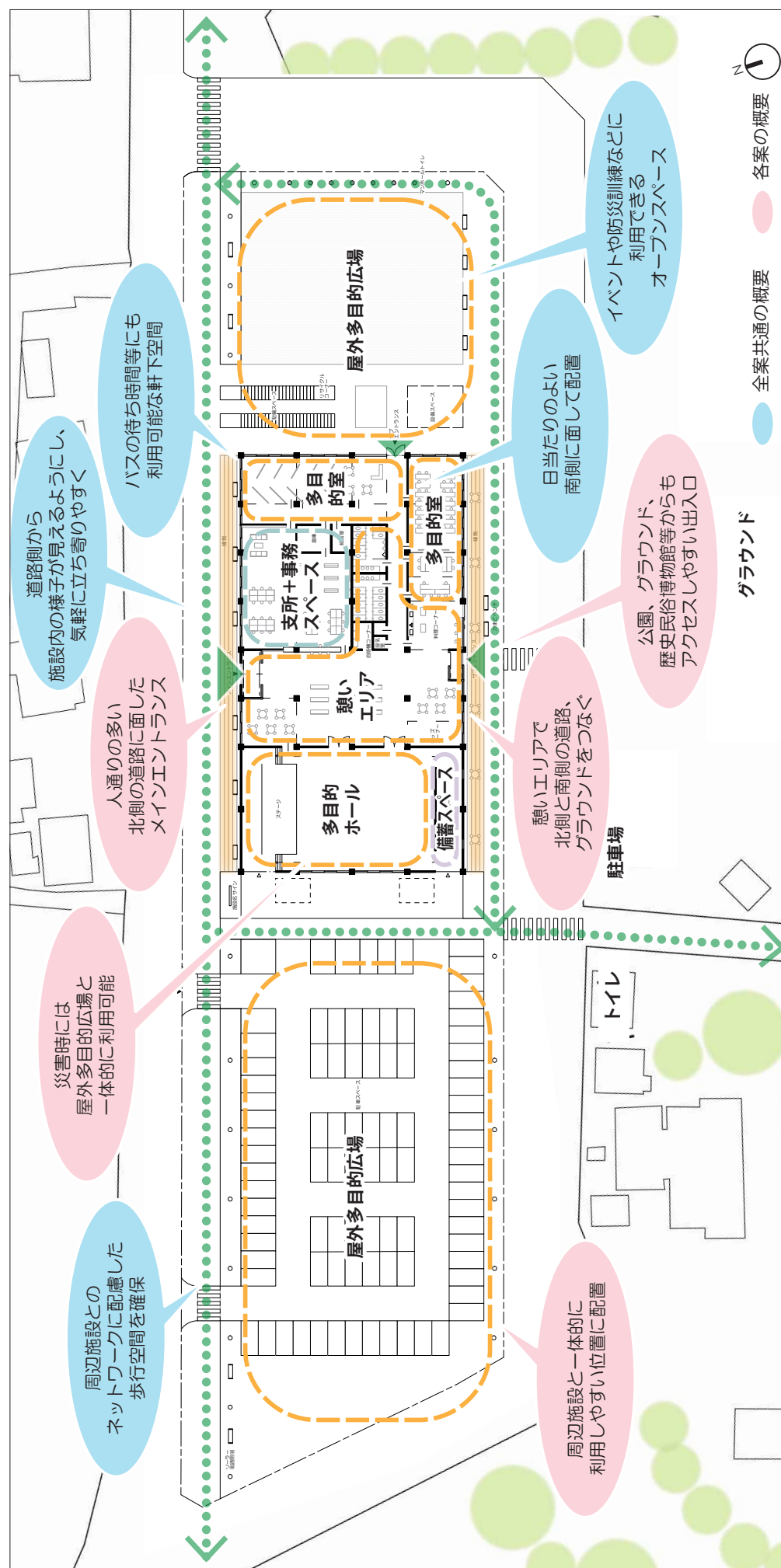
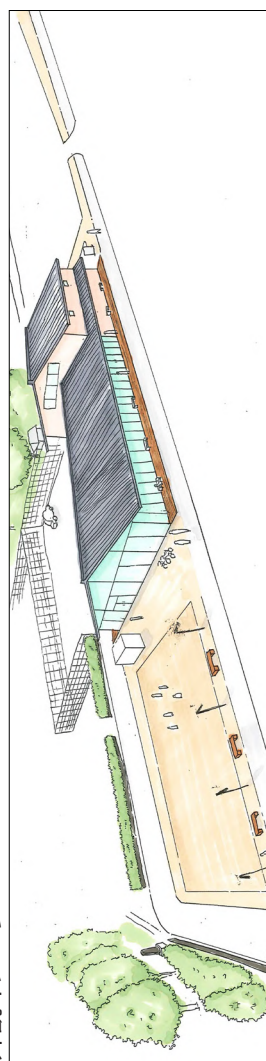
② 整備イメージ2

敷地中央にコミュニティ拠点施設を配置する案
(建設前に既存の豊津支所を解体しない場合)



③整備イメーシ3

敷地中央にコミュニティ拠点施設を配置する案
(建設前に既存の豊津支所を解体する案)



參考資料

1. 策定のプロセス

(1) 策定までのプロセス

本計画は以下のプロセスで策定しました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、適宜、対面での会議だけでなく、書面での開催という形式を採用しました。

実施日	会議等の名称	主な協議内容
11月 15日	グループ意見交換会	・新たなコミュニティ拠点施設の利用と空間のイメージについて
11月 27日	第5回まちづくり構想検討班会議 (書面開催)	・グループ意見交換会について ・基本計画骨子案について ・施設構成案について
12月 18日	第5回みやこ町防衛施設周辺 まちづくり構想検討委員会	・グループ意見交換会について ・基本計画骨子案について ・施設構成案について
1月 15日	第6回まちづくり構想検討班会議 (書面開催)	・前回会議への回答 ・住民意向の把握調査結果の報告
1月 21日	第6回みやこ町防衛施設周辺 まちづくり構想検討委員会(書面開催)	・住民意向の把握調査結果の報告 ・骨子案、スケジュールの修正について
2月 4日～ 26日	パブリックコメント	・基本計画案について
3月 1日	第7回まちづくり構想検討班会議	・前回会議への回答 ・まちづくり構想(案)について
3月 10日	第7回みやこ町防衛施設周辺 まちづくり構想検討委員会	・前回会議への回答 ・まちづくり構想(案)について

(2) 策定体制

①みやこ町防衛施設周辺まちづくり構想検討委員会委員 委員一覧

(任期：令和2年(2020年)4月1日～令和3年(2021年)3月31日)

分類	所属	役職	氏名
学識経験者	西日本工業大学	デザイン学部 建築学科 准教授	長 聡子
関係機関及び 団体の職員	みやこ町商工会	事務局長	松下 信彰
	みやこ観光まちづくり協会	事務局長	水上 斗夢
	京築広域圏消防本部	総務課長	大瀬 政彦
	みやこ町消防団	副団長	白川 周司
	みやこ町区長会	会長	是則 直幹
	みやこ町体育協会	事務局長	川寄 芳明
	みやこ町老人クラブ連合会	会長	原田 真琴
公募による者	一般公募		井上 幸子
	一般公募		富永 美由紀

2. 住民意向調査

本計画の策定にあたり、住民意向を把握するため、グループ意見交換会を実施しました。その概要と結果は以下のとおりです。

【実施概要】

実施日時：令和2年（2020年）11月15日（日） 10:00～12:00

実施場所：豊津公民館ホール

参加人数：15名（男性8名、女性7名）

実施内容：テーマ 「新たなコミュニティ拠点施設の利用と空間イメージについて」

①意見交換1

- ・自己紹介
- ・新しいコミュニティ拠点施設で「やってみたいこと」を考えよう

②現地確認+意見交換2

- ・新しいコミュニティ拠点施設に「あったらよいもの」を考えよう

③意見交換3

- ・新しいコミュニティ拠点施設の配置を考えよう



A 班 班構成：区長、利用団体、文化協会

① 意見交換1 新しいコミュニティ拠点施設で「やってみたいこと」を考えよう

●歴史民俗博物館や図書館もある、一帯が住民のいやしの場になってほしい	・一般の住民も訪れる日常的な癒しの場
●子供たちとの交流がしたい。	・年寄や子供達と料理をして交流したい ・寺子屋の活動（※普段は小学校で開催。公民館で開催する場合はホールを使用し、参加者は80人～100人程度）
●文化交流に関する活動をしたい	・イベント開催 ・芸能活動の発表 ・のど自慢大会 ・自衛隊の演奏 ・作品の展示発表（※公民館の2階ロビーで開催している）
●豊津地域は歴史あるところ、歴史をテーマにした勉強会等がしたい（10人～20人程度）	・豊津地域の歴史勉強会 ・各種教室の開催 ・集合場所（教室まで集まれる）
●防災に関する活動がしたい	・防災訓練 ・避難場所 災害時

② 新しいコミュニティ拠点施設に「あったらよいもの」を考えよう

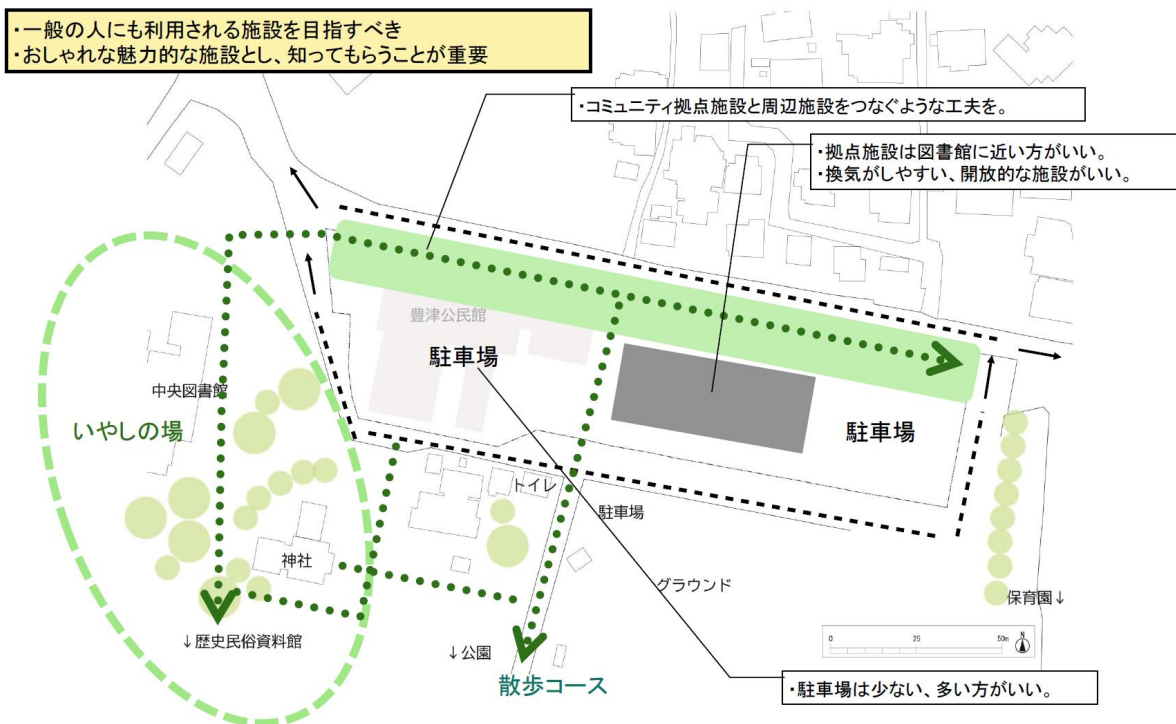
●コミュニティ拠点施設一帯が住民のいやしの場になってほしい	・京築一のいやしゾーン（歴史民俗博物館、図書館、神社等周辺） ・京築一の施設
●コミュニティ拠点は平屋がいい	・平屋 ・階段のみだと2階が利用しづらい ・2階建てなら大きなエレベーター
●いやしの場としてあったらいいもの	・歴史民俗博物館、図書館、神社等を巡る散歩コース ・いやしの場となるテラス
●ホール	・社交ダンスができるホール ・可動式の座席（※寺子屋の活動では今のホールぐらいがあればいい）
●舞台	・演奏会ができる舞台 ・自衛隊や育徳館高校のオーケストラが演奏できる舞台（※育徳館高校の音楽部は有名）

	・バックヤード 着替え室（※女性は、現在の豊津公民館の2階和室で着替えており、着替えた後、舞台にはホールを通らないと上がれない）
●オシャレな調理室→おいしく食べられる場	・広い調理室（※作った料理を美味しく食べる事ができるデザイン） （※子供たちと料理できる調理室が欲しい、調理台が6台ぐらいは欲しい。今は、すどりの里を使ったりしている） （※現在の稼働率が悪いのは知られていないし、使いづらいから。料理した後に楽しく食べられるオシャレな場まで用意できれば、使われると思う）
●トイレ	・トイレが少ない
●展示コーナー	・絵画 作品の展示コーナー（※ロビー等） ・多目的利用できる会議室
●駐車場	・駐車場が少ない
●発電（防災）	・発電設備
●その他	・高齢者にとっては和室はいらない

新たなコミュニティ拠点施設グループ意見交換会 シート③

新しいコミュニティ拠点施設の配置を考えよう

グループA



B 班 班構成：文化協会、中学生

① 意見交換1 新しいコミュニティ拠点施設で「やってみたいこと」を考えよう

●イベント	・各種発表会 ・まだ使用できる不用品の交換会の場づくり
●学習＋飲食	・食事が可能な静かな学習スペース（図書館は飲食できない）
●サークル	・各種教室活動 ・コーラス、カラオケ、ダンス、そば打ち、俳句、絵画 油絵、太鼓、音楽、お花、お茶、伝統工芸が作れるところ、燻製づくりのできる場
●キッズ	・幼児が遊べる空間づくり ・ダンボール迷路（イベント的な実施を想定） ・0～6歳が遊べる場所がほかにあまりないため、あるとよい ・ママさんの憩い
●防災	・災害時には利用できる拠点として
●集う・楽しむ	・お弁当を食べる ・ふらっと入る ・集まる 話す 楽しむ場所 ・友達とおしゃべりできるスペース ・映画とか観られたら嬉しい ・公民館は多くの人が利用できるような場所

② 新しいコミュニティ拠点施設に「あったらよいもの」を考えよう

●調理室	・調理室の利便化 ・コンパクト高機能な設備の調理室
●会議室	・ドアの入り口幅を広げられる会議室（両開き、引き戸などで搬入しやすいもの） ・広さの調整ができる会議室（間仕切りなどで） ・各種会議室 ・和室（お茶 お花のサークル用）
●ホール 搬入しやすい・フレキシブル	・大型モニター設備のホール ・音響設備 ・大型道具や搬入しやすい入口、動線 ・椅子の自動化 収納

	・ステージ袖、奥行き 広く（現状は袖が狭く搬入しにくい）
●休憩スペース 明るくあたたかい	・電気はなるべく明るく 目に優しい方がいい（現在の廊下が暗い） ・休憩室 ・椅子テーブル ・自販機 ・建物の素材を丈夫かつ温かみのあるもの
●屋外	・大型テントの設置 ・町の花 梅の木があると人が集まるのではないか
●トイレ	・多目的トイレ ・トイレは広めがよい ・おむつコーナー

新たなコミュニティ拠点施設グループ意見交換会 シート③

新しいコミュニティ拠点施設の配置を考えよう

グループB



C 班**班構成：区長、文化協会、中学生****① 意見交換1 新しいコミュニティ拠点施設で「やってみたいこと」を考えよう**

●イベント利用	・文化協会発表会 ・絵画、書道の展示会 ・コンサート、音楽会（※現状の不満点 ・舞台裏に楽屋がないため、出演者が会場を通る必要がある。 ・音響機器が揃っていない。音響を扱える職員がいると良い。）
●日常利用	・技能講習（重機の資格等、広場で実技講習が可能であれば） ・体験教室（料理） ・カラオケ ・中高生向け勉強会 ・自習 個別ブース 飲食
●立ち寄りやすさ	・住民が使いやすい公民館 入り口は広く明るくしてほしい ・高齢者を対象に段差がないよう工夫してほしい ・散歩の途中で寄れる入口、外観

② 新しいコミュニティ拠点施設に「あったらよいもの」を考えよう

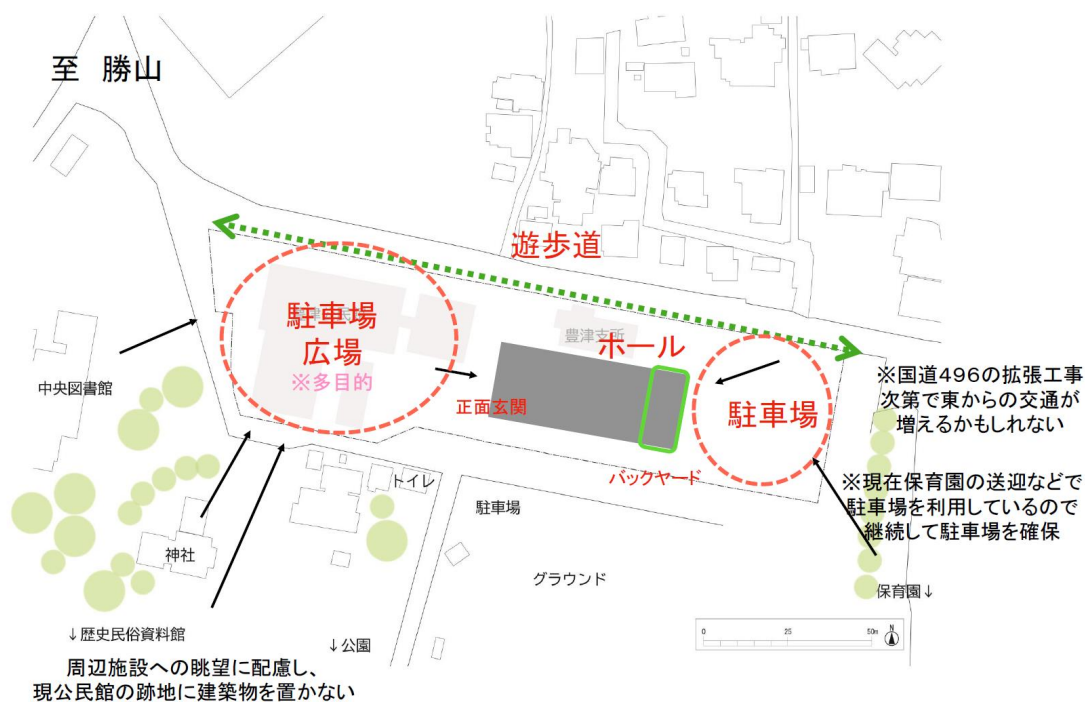
●建て方	・階段の上り下りが必要ない平屋のほうが良い
●ホール	・今より大きいホール ・出演者が待機する楽屋と楽屋からステージまで会場と交錯しない動線が必要 ・ステージも現状より広いほうが良い ・年間にそんなに利用しないと思う。サン・グレートとの住み分けも考える必要がある
●設備	・出し入れしやすいイスと机（収納できるスペース） ・フリーWi-Fi ・テレビ会議システム
●トイレ	・トイレ設備は広く 使いやすい！ ・トイレは広く 密にならないよう ・綺麗で使いやすいトイレ

●会議室	・高齢者は床座より椅子の方が良いので和室は必要ない（※着替えをする場合には和室（畳間）の方が良い） ・各種団体の事務局の部屋の設置（個室ではなくパーティションなどで区切れるもの）
●スーパー	・スーパーマーケット（丸食移転）
●自習スペース	・飲食が可能、個人ブースなどがあると利用しやすい

新たなコミュニティ拠点施設グループ意見交換会 シート③

新しいコミュニティ拠点施設の配置を考えよう

グループC



D 班 班構成：利用団体、中学生、文化協会

① 意見交換1 新しいコミュニティ拠点施設で「やってみたいこと」を考えよう

●映画館やコンサート	・講演会や発表会 ・シアタールーム ・映画 プラネタリウム ・音響設備が整った中でのコンサート ・芸能人を呼ぶ ・講演会 ・若い人との交流会
●安心して学習がしたい	・個別で学習 ・勉強ができる所 ・少人数で学習等に使える部屋 ・情報設備として PC 等での検索
●食事会や料理教室	・自分たちで調理し、別室で楽しく食事 ・調理室の充実
●お茶会	・和室にてお茶会
●体験教室	・ものづくり体験 ・合宿 非常時に宿泊使用 ・冷暖房の使えるホールでのスポーツ レクレーション ・ダンス 踊り 体操 ・みやこ町十条町の子供たちの集会
●休憩できる場	・休憩場所の椅子は広めに若者の足に合わせる
●トイレ	・トイレは最低 10 個つくる

② 新しいコミュニティ拠点施設に「あったらよいもの」を考えよう

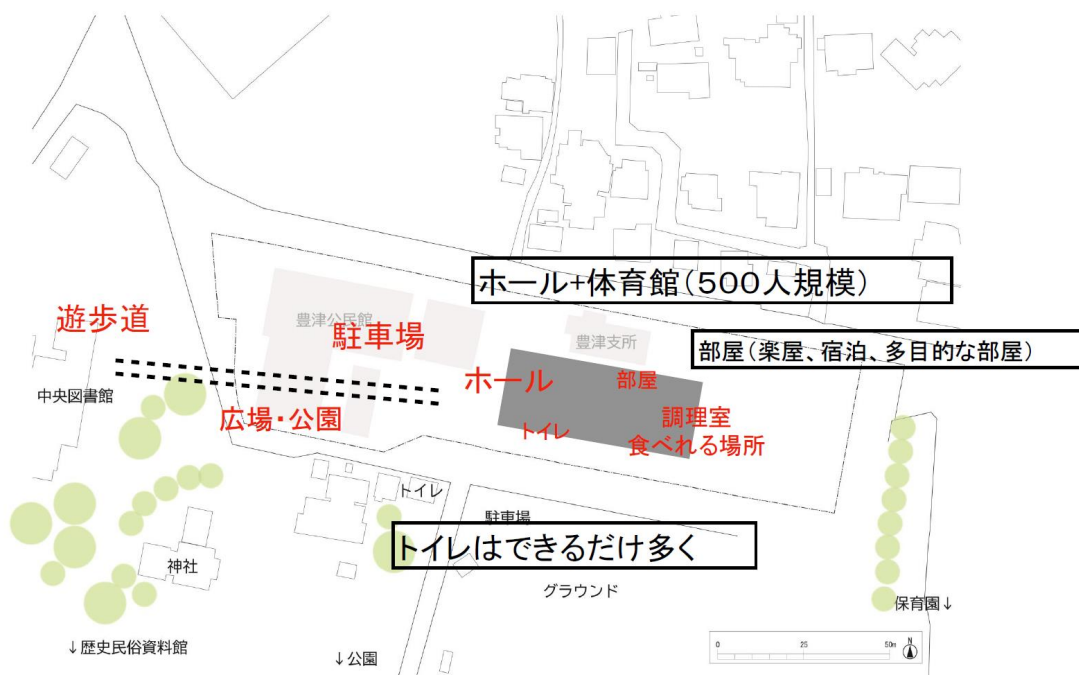
●勉強ができる場	・個別で学習できる学習机 ・PC ブース
●会議室	・会議等で使用しやすいようにプロジェクターや電子黒板の設置
●フローリング	・フローリングの部屋 ・フローリングの床暖房（子供使用等を考えて） ・多目的に使える中規模のフローリング部屋
●ホール	・大人数が収容できるホール（500人規模） ・観客席は長時間座れるような椅子

	・可動式の椅子 ・ホールの入り口近くに休憩できる椅子設置
●料理教室＋食べる場	・調理室の隣に食べる部屋を作る ・台所と食事場所をドア一枚で繋げる ・椅子にする
●和室	・段差のない和室 お茶・お作法など ・合宿のできる俳句短歌教室
●宿泊	・合宿のできる部屋 ・宿泊施設（シャワー室、ベッド等）
●体育館	・体育館としても使用できるホール ・体育館
●エレベーター	・エレベーター、広く明るい階段
●休憩場	・フリーWi-Fi ・各種自販機（パンやラーメンなど）非常食を考慮して
●公園・グラウンド	・広い公園、広場 テントのはれる場所 ・グラウンドに水道設備
●周辺施設との接続	・図書館と廊下でつなげる ・動く歩道で図書館と施設をつなげる
●デザイン	・三重塔をデザインのモチーフに 外観

新たなコミュニティ拠点施設グループ意見交換会 シート③

新しいコミュニティ拠点施設の配置を考えよう

グループD



2. 意見・アイデアまとめ

施設構成	項目	意見
多目的ホール	活動	・ダンス 踊り 体操 ・講演会や発表会 ・寺子屋の活動（80人～100人） ・芸能活動の発表 ・各種発表会 ・社交ダンスができるホール ・文化協会発表会
	行事	・イベント開催 ・のど自慢大会 ・自衛隊の演奏 ・芸能人を呼ぶ ・若い人との交流会
	ステージ	・自衛隊や育徳館高校のオーケストラが演奏できる舞台 ・バックヤード着替え室（※女性は、現在の豊津公民館の2階和室で着替えており、着替えた後、舞台にはホールを通らないと上がれない） ・大型道具や搬入しやすい入口、動線 ・ステージ袖、奥行き 広く（現状は袖が狭く搬入しにくい） ・コンサート、音楽会（※現状の不満点 ・舞台裏に楽屋がないため、出演者が会場を通る必要がある。 ・出演者が待機する楽屋と楽屋からステージまで会場と交錯しない動線が必要 ・ステージも現状より広いほうが良い
	音響関係	・音響設備が整った中でのコンサート ・音響機器が揃っていない。（音響を扱える職員がいると良い。） ・映画、プラネタリウム、シアタールーム ・大型モニター設備のホール

施設構成	項目	意見
	規模	・大人数収容ホール（５００人規模） ・今より大きいホール ・年間にそんなに利用しないと思う。サン・グレートとの住み分けも考える必要がある
	機能	・体育館としても使用できるホール ・冷暖房の使えるホールでのスポーツ レクリエーション ・合宿 非常時に宿泊使用 ・観客席は長時間座れるような椅子 ・ホールの入口近くに休憩できる椅子の設置 ・可動式の座席（※寺子屋の活動では今のホールぐらいがあればいい） ・椅子の自動化 収納 ・出し入れしやすいイスと机（収納できるスペース）
多目的室	行事	・豊津地域の歴史勉強会 ・各種教室の開催 ・多目的利用できる会議室 ・ものづくり体験 ・カラオケ ・中高生向け勉強会 ・コーラス、カラオケ、ダンス、そば打ち、俳句、絵画 油絵、太鼓、音楽、お花、お茶、伝統工芸が作れるところ、燻製づくりのできる場
	機能	・テレビ会議システム ・プロジェクターや電子黒板の設置 ・フローリング床暖房（子供使用考慮） ・多目的に使える中規模のフローリング部屋 ・合宿のできる部屋 ・ドアの入り口幅を広げられる会議室（両開き、引き戸などで搬入しやすいもの） ・広さの調整ができる会議室（間仕切りなどで）

施設構成	項目	意見
和室	行事	・和室にてお茶会、お花のサークル ・合宿のできる俳句短歌教室
	機能	・段差のない和室 お茶・お作法など
	規模	・高齢者にとっては和室はいらない ・高齢者は床座より椅子の方が良いので和室は必要ない（※着替えをする場合には和室（畳間）の方が良い）
料理コーナー	行事	・年寄や子供達と料理をして交流したい ・体験教室（料理） ・自分たちで調理し、別室で楽しく食事
	設備	・調理室の充実 ・調理室の隣に食べる部屋を作る ・台所と食事場所をドア一枚で繋げる ・椅子にする ・調理室の利便化 ・コンパクト高機能な設備の調理室
	規模	・広い調理室（※作った料理を美味しく食べる事ができるデザイン） （※子供たちと料理できる調理室が欲しい、調理台が6台ぐらいは欲しい。今は、すどりの里を使ったりしている） （※現在の稼働率が悪いのは知られていないし、使いづらいから。料理した後に楽しく食べられるオシャレな場まで用意できれば、使われると思う）
憩いエリア	行事	・集まる 話す 楽しむ場所 ・友達とおしゃべりできるスペース ・一般の住民も訪れる日常的な癒しの場 ・公民館は多くの人が利用できるような場所 ・ふらっと入る ・集合場所（教室まで集まれる） ・まだ使用できる不用品の交換会の場づくり ・絵画、書道等の展示コーナー（※ロビー等）

施設構成	項目	意見
	学習	・個別で学習 ・勉強ができる所 ・少人数で学習等に使える部屋 ・個別で学習できる学習机 ・自習 個別ブース 飲食 ・食事が可能な静かな学習スペース（図書館は飲食できない）
	飲食	・お弁当を食べる ・各種自販機（パンやラーメンなど）非常食を考慮して ・自販機 ・飲食が可能、個人ブースなどがあると利用しやすい
	設備	・フリーWi-Fi ・情報設備として PC 等での検索 ・休憩場所の椅子は広め若者の足に合わせる ・PC ブース
	幼児	・いやし場となるテラス ・幼児が遊べる空間づくり ・ダンボール迷路（イベント的な実施を想定） ・0～6歳が遊べる場所がほかにあまりないため、あるとよい ・ママさんの憩い ・椅子テーブル
防災	行事	・防災訓練 ・避難場所 災害時 ・災害時には利用できる拠点として
	設備	・発電設備

施設構成	項目	意見
全体設備	採光	・電気はなるべく明るく 目に優しい方がいい（現在の廊下が暗い） ・住民が使いやすい公民館 入り口は広く明るくしてほしい ・広く明るい階段
	トイレ	・トイレは最低 10 個つくる ・トイレが少ない ・多目的トイレ ・トイレは広めがよい ・おむつコーナー ・トイレ設備は広く 使いやすい！ ・トイレは広く 密にならないよう ・綺麗で使いやすいトイレ
	バリアフリー	・高齢者を対象に段差がない工夫 ・階段の上り下りが必要ない平屋が良い ・エレベーター ・平屋 ・階段のみだと 2 階が利用しづらい ・2 階建てなら大きなエレベーター
	機能	・宿泊施設（シャワー室、ベッド等）
屋外多目的広場	災害	・広場 テントのはれる場所 ・大型テントの設置 ・グラウンドに水道設備
	活用	・広い公園 ・技能講習（重機の資格等、広場で実技講習が可能であれば）
	集客	・町の花 梅の木があると人が集まるのではないかな ・京築一のいやしゾーン（歴史民俗博物館、図書館、神社等周辺）

施設構成	項目	意見
周辺施設との接続	設備	・ 図書館と廊下でつなげる ・ 動く歩道で図書館と施設をつなげる ・ 歴史民俗博物館、図書館、神社等を巡る散歩コース
外観		・ 三重塔をデザインのモチーフに 外観 ・ 建物の素材を丈夫かつ温かみのあるもの ・ 散歩の途中で寄れる入口、外観
駐車場		・ 駐車場が少ない
その他		・ スーパーマーケット（丸食移転） ・ 各種団体の事務局の部屋の設置（個室ではなくパーティションなどで区切れるもの）

3. パブリックコメント結果

本計画の策定にあたって、計画素案に対する住民の意見や提案を把握し、計画に反映するために、パブリックコメントを実施しました。

周知方法	○町ホームページにパブリックコメントの実施を掲載 ○みやこ町役場本庁行政経営課、豊津支所、犀川支所、豊津公民館、町ホームページで 築城飛行場周辺まちづくり構想（基本計画）（案）及び概要版（案）を閲覧
募集期間	令和3年（2021年）2月4日（木）～2月26日（金）まで
提出方法	意見等記入用紙に必要事項を記入し、みやこ町役場行政経営課へ持参又は郵送、 メール、ファックス
募集結果	4通 13件 うち、施設構成について 6件 整備イメージについて 3件 その他意見について 4件

築城飛行場周辺まちづくり構想 基本計画

発行：令和3年3月 みやこ町

住所：〒824-0892 福岡県京都郡みやこ町勝山上田 960 番地

TEL：0930-32-2511（代表）

FAX：0930-32-4563（代表）

URL：<https://www.town.miyako.lg.jp/>

E-mail：miyako@town.miyako.lg.jp

